

令和 8 年度神戸市明るい選挙推進協議会 次第

日時：令和 8 年 6 月 1 5 日（月） 1 0 時

場所：神戸市役所 1 号館 2 4 階 1 2 4 7 会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 神戸市の選挙を巡る現状について・・・資料 4

神戸市選挙管理委員会事務局

(2) 主権者教育の充実・・・資料 5、資料 6

神戸女子大学 文学部 教育学科 松林 咲希

神戸大学 医学部 医学科 小野 公暉

(3) 意見交換

3 閉 会

【配布資料】

- ・ 令和 8 年度 神戸市明るい選挙推進協議会委員名簿 ・・・・資料 1
- ・ 令和 8 年度 神戸市明るい選挙推進協議会座席表 ・・・・資料 2
- ・ 神戸市明るい選挙推進協議会設置要綱 ・・・・資料 3
- ・ 神戸市の選挙を巡る現状について ・・・・資料 4
- ・ 小学校・特別支援学校における出前授業の実践報告 ・・・・資料 5
(主権者教育の充実 神戸女子大学文学部 教育学科 松林 咲希)
- ・ 2025年度参議院議員選挙における投票促進企画の結果報告 ・・・・資料 6
(主権者教育の充実 神戸大学 医学部 医学科 小野 公暉)
- ・ 令和 8 年度 選挙常時啓発事業計画 他 ・・・・資料 7

令和8年度 神戸市明るい選挙推進協議会 委員名簿

(順不同、敬称略)

氏 名	役 職 名	新任 再任	備 考
田淵 創	元常磐会短期大学学長	再任	
永田 憲亮	(株)神戸新聞社編集局報道部長	新任	
水野 侯	NHK神戸放送局コンテンツセンター長	新任	
内藤 泉	(株)ラジオ関西 コンテンツクリエイト局長兼ニュース部長	再任	
立石 望	(株)サンテレビジョン社会報道部長	再任	
森田 祐子	一般社団法人神戸市婦人団体協議会 副会長	再任	
高尾 ひろ子	一般社団法人神戸市婦人団体協議会 副会長	再任	
河端 晶子	生活協同組合コープこうべ理事	再任	
扶蘇 郁雄	NPO法人こうべユースネット副理事長	再任	
小西 絢平	神戸市PTA協議会会長	新任	
辻 幸志	NPO法人こうべユースネット理事長	再任	
速水 順一郎	兵庫県青少年団体連絡協議会顧問	再任	
浅井 宣光	神戸市私立学校協会会長	再任	松蔭中学校・松蔭高等学校長
藤田 博久	神戸市立高等学校長会会長	再任	神戸市立六甲アイランド高等学校長
中井 靖浩	神戸市立中学校長会会長	新任	神戸市立飛松中学校長
山田 知之	神戸市小学校長会会長	新任	神戸市立長田南小学校長
石川 晴実	神戸市立幼稚園長会会長	再任	神戸市立青山台こばと幼稚園長
辻村 千代子	神戸市立特別支援学校長会会長	新任	神戸市立いぶき明生支援学校長
松林 咲希	神戸女子大学文学部教育学科	新任	
小野 公暉	神戸大学医学部医学科	再任	
藤田 智哉	神戸大学経済学部経済学科	再任	
安藤 咲人	神戸大学海洋政策科学部	新任	
松田 凜	神戸大学海洋政策科学部	新任	
岸田 壮太	神戸大学海洋政策科学部	新任	
中村 元紀	神戸大学海洋政策科学部	新任	
北川 道夫	神戸市選挙管理委員会委員長	再任	
池田 林太郎	神戸市選挙管理委員会委員長代理	再任	
安達 和彦	神戸市選挙管理委員会委員	再任	
村上 雅彦	神戸市選挙管理委員会委員	再任	

神戸市明るい選挙推進協議会設置要綱

(名 称)

第1条 この協議会は、神戸市明るい選挙推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、本市における明るい選挙の推進を効果的かつ円滑に推進するため、神戸市選挙管理委員会に協力することを目的とする。

(組 織)

第3条 協議会は、30人以内の委員をもって組織する。

2 協議会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから、神戸市選挙管理委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 報道関係者
- (3) 青少年団体、婦人会等民間団体の役職員
- (4) 教育関係者
- (5) 若い有権者
- (6) 神戸市選挙管理委員

3 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長1名を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集する。

(庶 務)

第6条 協議会の庶務は、神戸市選挙管理委員会事務局において行う。

(補 則)

第7条 この要綱に定めるものの外、協議会に関し必要な事項は、協議会が定める。

附 則

この要綱は、昭和37年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和40年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和49年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年6月2日から施行する。

神戸市の選挙を巡る現状について

神戸市選挙管理委員会事務局
事務局長 長谷 英昭

令和8年6月15日



令和8年衆議院議員総選挙における神戸市の年代別の投票率

投票率(小選挙区選挙)

神戸市:53.96%

東灘区:59.44%

灘 区:57.82%

中央区:52.54%

兵庫区:48.97%

北 区:51.75%

長田区:47.21%

須磨区:55.68%

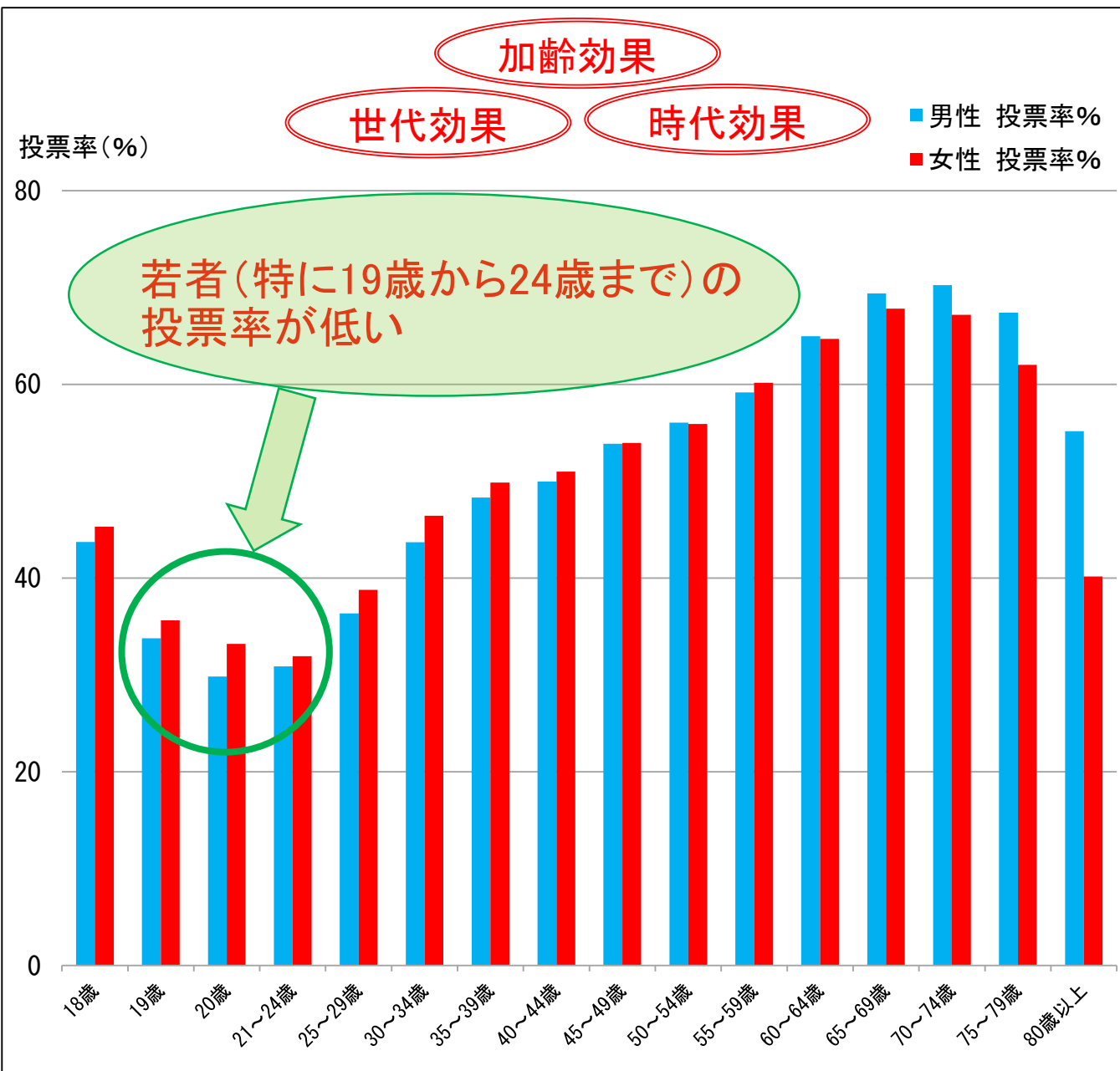
垂水区:54.16%

西 区:53.41%

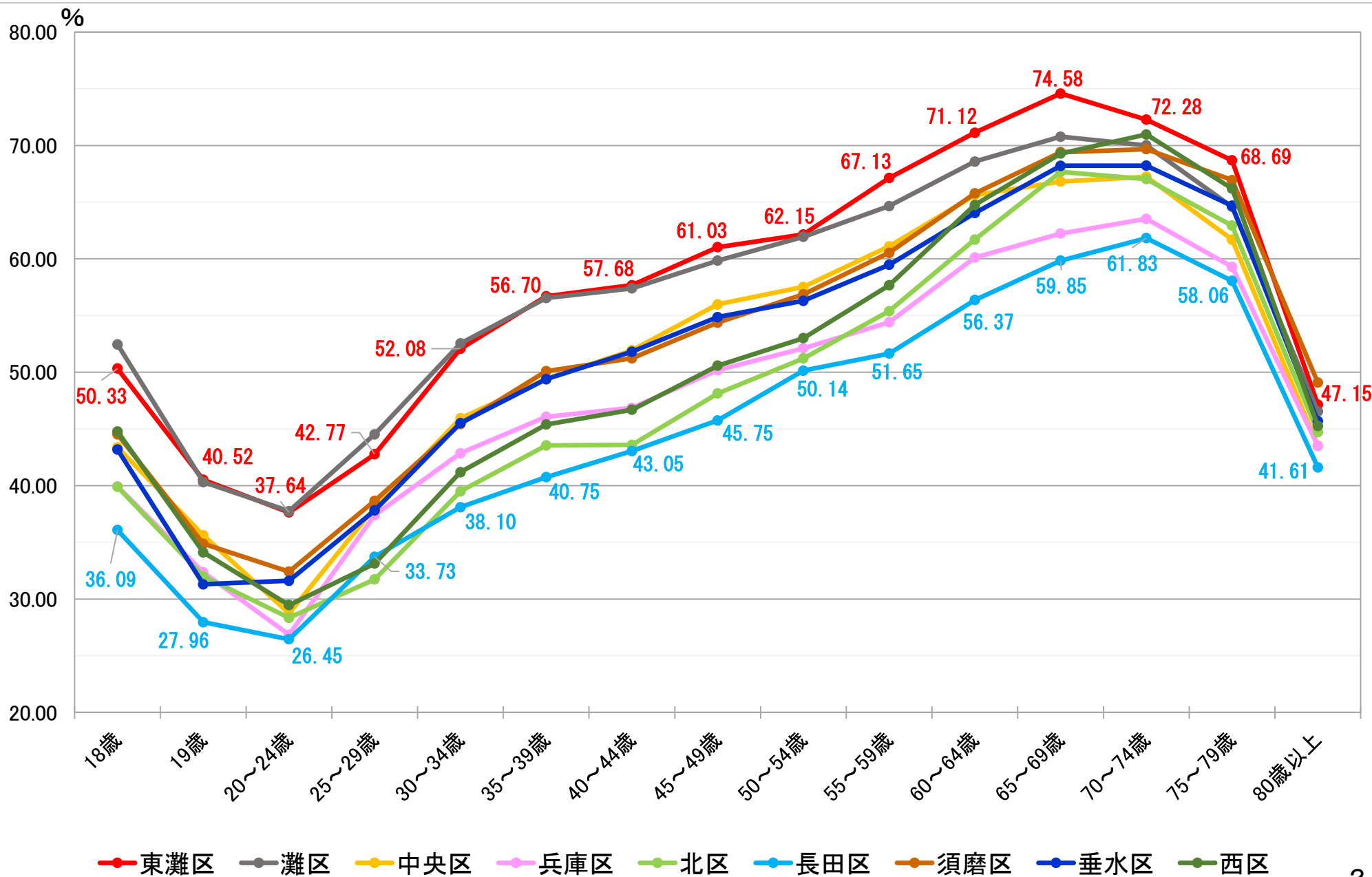
兵庫県:55.85%

全 国:56.26%

東灘区と長田区では、
投票率に12ポイント程度
の差が生じている



令和8年衆議院議員総選挙における神戸市の年代別・区別の投票率①



令和8年衆議院議員総選挙における神戸市の年代別・区別の投票率②

単位：％

	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
18歳	50.33	52.45	43.38	39.94	39.89	36.09	44.53	43.19	44.78
19歳	40.52	40.31	35.62	32.36	32.00	27.96	34.87	31.30	34.11
20～24歳	37.64	37.75	28.73	26.85	28.34	26.45	32.41	31.61	29.46
25～29歳	42.77	44.53	38.06	37.40	31.73	33.73	38.66	37.82	33.13
30～34歳	52.08	52.54	45.94	42.86	39.50	38.10	45.43	45.52	41.19
35～39歳	56.70	56.54	49.41	46.07	43.55	40.75	50.09	49.38	45.39
40～44歳	57.68	57.40	51.94	46.86	43.60	43.05	51.23	51.81	46.69
45～49歳	61.03	59.85	55.99	50.18	48.13	45.75	54.38	54.86	50.58
50～54歳	62.15	61.94	57.52	52.11	51.22	50.14	56.87	56.30	53.01
55～59歳	67.13	64.65	61.10	54.41	55.39	51.65	60.54	59.48	57.67
60～64歳	71.12	68.58	65.62	60.12	61.70	56.37	65.77	64.04	64.75
65～69歳	74.58	70.77	66.82	62.24	67.68	59.85	69.40	68.21	69.29
70～74歳	72.28	70.01	67.25	63.53	67.03	61.83	69.68	68.22	70.97
75～79歳	68.69	64.59	61.70	59.29	62.94	58.06	66.95	64.68	66.20
80歳以上	47.15	46.55	43.54	43.50	44.71	41.61	49.09	45.68	45.27
合計	59.44	57.82	52.54	48.97	51.75	47.21	55.68	54.16	53.41

最高
最低

直近5回の国政選挙及び兵庫県知事選挙における神戸市の投票率と全国又は県の平均投票率との比較

執行年月日	選挙の種類	投票率(%) (小)選挙区	
		神戸市平均	全国／県平均
R8.2.8	衆議院議員総選挙	53.96	56.26
R7.7.20	参議院議員通常選挙	60.59	58.51※
R6.11.17	兵庫県知事選挙	55.49	55.65
R6.10.27	衆議院議員総選挙	52.85	53.85
R4.7.10	参議院議員通常選挙	51.40	52.05
R3.10.31	衆議院議員総選挙	53.45	55.93
R3.7.18	兵庫県知事選挙	41.61	41.10※
R元.7.21	参議院議員通常選挙	47.73	48.80
H29.10.22	衆議院議員総選挙	47.29	53.68
H29.7.2	兵庫県知事選挙	39.59	40.86
H28.7.10	参議院議員通常選挙	52.65	54.70
H26.12.14	衆議院議員総選挙	49.21	52.66
H25.7.21	兵庫県知事選挙	52.48	53.47
H25.7.21	参議院議員通常選挙	51.91	52.61
H21.7.5	兵庫県知事選挙	32.75	36.02

※印は、神戸市の投票率が全国平均又は県平均を上回ったことを示す。

指定都市の1万人当たり投票所数、10万人当たり期日前投票所数等①(R8衆議院選挙)

指定都市名	選挙当日 有権者数(人) (A)	投票所数 (C)	1投票所当たり 選挙当日有権者数(人) (A/C)	1万人当たり投票所数 (10000*C/A)	期日前 投票所数(D)	1期日前投票所当たり 選挙当日有権者数(人) (A/D)	10万人当たり 期日前投票所数 (100000*D/A)	投票率 (%)	投票率 順位	投票所 密度順位 (人口)	期日前 密度順位 (人口)
札幌市	1,687,726	312	5,409	1.85	20	84,386	1.19	55.81	7	17	18
仙台市	900,028	173	5,202	1.92	17	52,943	1.89	55.26	9	15	12
さいたま市	1,119,542	246	4,551	2.20	30	37,318	2.68	55.85	6	10	9
千葉市	817,528	158	5,174	1.93	12	68,127	1.47	52.91	18	14	14
川崎市	1,277,940	164	7,792	1.28	17	75,173	1.33	56.08	5	20	15
横浜市	3,133,948	626	5,006	2.00	38	82,472	1.21	57.00	3	12	17
相模原市	602,962	132	4,568	2.19	20	30,148	3.32	54.35	13	11	5
新潟市	645,736	211	3,060	3.27	23	28,075	3.56	56.28	4	1	3
静岡市	567,303	185	3,067	3.26	16	35,456	2.82	57.02	2	2	8
浜松市	640,044	207	3,092	3.23	23	27,828	3.59	62.29	1	3	2
名古屋市	1,893,702	362	5,231	1.91	22	86,077	1.16	55.03	10	16	19
京都市	1,136,604	282	4,031	2.48	20	56,830	1.76	54.11	14	8	13
大阪市	2,258,581	361	6,256	1.60	29	77,882	1.28	55.36	8	19	16
堺市	674,343	132	5,109	1.96	7	96,335	1.04	54.65	12	13	20
神戸市	1,228,425	349	3,520	2.84	32	38,388	2.60	53.96	16	6	10
岡山市	572,282	134	4,271	2.34	20	28,614	3.49	52.35	19	9	4
広島市	970,824	278	3,492	2.86	29	33,477	2.99	47.50	20	5	6
北九州市	761,589	238	3,200	3.13	22	34,618	2.89	53.13	17	4	7
福岡市	1,323,602	241	5,492	1.82	29	45,641	2.19	53.99	15	18	11
熊本市	602,164	150	4,014	2.49	29	20,764	4.82	54.72	11	7	1

※ 選挙当日有権者数は、令和8年2月8日執行衆議院議員総選挙時のものである(在外選挙人名簿登録者数を含む。)。また、投票率は小選挙区選挙の数値を記載している。

※ 投票率(全国(小選挙区)):56.26%

指定都市の1万人当たり投票所数、10万人当たり期日前投票所数等②(R8衆議院選挙)

【選挙当日有権者が100万人超の指定都市のみ】

指定都市名	選挙当日 有権者数(人) (A)	投票所数 (B)	1投票所当たり 選挙当日有権者数(人) (A/B)	1万人当たり投票所数 (10000*B/A)	期日前 投票所数(C)	1期日前投票所当たり 選挙当日有権者数(人) (A/C)	10万人当たり 期日前投票所数 (100000*C/A)	投票率 (%)	投票率 順位	投票所 密度順位 (人口)	期日前 密度順位 (人口)
札幌市	1,687,726	312	5,409	1.85	20	84,386	1.19	55.81	4	6	8
さいたま市	1,119,542	246	4,551	2.20	30	37,318	2.68	55.85	3	3	1
川崎市	1,277,940	164	7,792	1.28	17	75,173	1.33	56.08	2	9	5
横浜市	3,133,948	626	5,006	2.00	38	82,472	1.21	57.00	1	4	7
名古屋市	1,893,702	362	5,231	1.91	22	86,077	1.16	55.03	6	5	9
京都市	1,136,604	282	4,031	2.48	20	56,830	1.76	54.11	7	2	4
大阪市	2,258,581	361	6,256	1.60	29	77,882	1.28	55.36	5	8	6
神戸市	1,228,425	349	3,520	2.84	32	38,388	2.60	53.96	9	1	2
福岡市	1,323,602	241	5,492	1.82	29	45,641	2.19	53.99	8	7	3

【行政区ごとの比較】

指定都市名	選挙当日 有権者数(人) (A)	投票所数 (B)	1投票所当たり 選挙当日有権者数(人) (A/B)	1万人当たり投票所数 (10000*B/A)	期日前 投票所数(C)	1期日前投票所当たり 選挙当日有権者数(人) (A/C)	10万人当たり 期日前投票所数 (100000*C/A)	投票率 (%)	投票率 順位	投票所 密度順位 (人口)	期日前 密度順位 (人口)
東灘区	171,191	42	4,076	2.45	2	85,596	1.17	59.44	1	9	8
灘区	107,693	28	3,846	2.60	2	53,847	1.86	57.82	2	6	5
中央区	111,551	30	3,718	2.69	2	55,776	1.79	52.54	6	5	6
兵庫区	90,586	34	2,664	3.75	2	45,293	2.21	48.97	8	2	4
北区	174,069	54	3,224	3.10	9	19,341	5.17	51.75	7	3	1
長田区	76,003	31	2,452	4.08	2	38,002	2.63	47.21	9	1	3
須磨区	129,111	39	3,311	3.02	2	64,556	1.55	55.68	3	4	7
垂水区	174,719	43	4,063	2.46	2	87,360	1.14	54.16	4	8	9
西区	193,502	48	4,031	2.48	9	21,500	4.65	53.41	5	7	2

投票所・期日前投票所の設置数・設置期間と投票率の関係について(最近の主な論文より)

○投票環境と投票率(2016年 松林哲也)

- ・ 有権者1万人当たりの投票所数が1つ増えると、投票率は0.17%上昇する。
- ・ 市町村内の全ての投票所で投票時間が2時間短縮されると、投票率が0.9%下落する。

○期日前投票制度と投票率(2017年 松林哲也)

- ・ 10km²当たりの投票所数が1つ増えると、投票率は少なくとも0.75%上昇する。
- ・ 有権者1万人当たりの期日前投票所数が1つ増えると、投票率は約0.5%上昇する。
- ・ 10km²当たりの期日前投票所数が1つ増えると、投票率は1.6%上昇する。
- ・ 少なくとも7日間開設された期日前投票所数のみを考慮すると、投票率は1%前後上昇する。

○投票所閉鎖時刻繰り上げと投票率・各党得票率の関係(2021年 福元健太郎・菊田恭輔)

- ・ 衆院選の場合、投票所の閉鎖時刻が2時間短縮されると、投票率は1.65%低下する。

○何が投票率を高めるのか(2023年 松林哲也)

- ・ 有権者1万人当たりの投票所数が平均値から1つ減ると、投票率は0.51%下落する。
- ・ 有権者10万人当たりの期日前投票所数が1つ増えると、投票率は0.16%上昇する。

投票所を1つ減らすと、期日前投票所を3つ設置しないと、投票率は維持できない



○利便性の高い場所に設置された期日前投票所が投票率に与える影響(2023年 善教将大)

- ・ 利便性の高い場所への期日前投票所の設置は、投票率を向上させる可能性が高い。
- ・ 投票日に近いタイミングで期日前投票所を設置することは、投票率の向上に寄与する可能性が高い。

期日前投票所の拡充

- R7参議院議員通常選挙では、市内32か所に期日前投票所を設置。
- 指定都市の中で、神戸市は横浜市に次いで期日前投票所の設置数が多い(横浜市は市内38か所に設置)。
- 有権者の利便性の向上を図るため、集客施設等にも、積極的に設置。
 - ・神戸ファッション美術館
 - ・イオンモール神戸南
 - ・神戸市外国語大学 等



神戸市外国語大学(垂水区・西区)に設置された期日前投票所の様子

【岡山市の事例】

イオンモール内に全区(4区)の合同期日前投票所を設置

【広島市の事例】

JR広島駅構内に全区(8区)の合同期日前投票所を設置



これまでの期日前投票における実績を評価・分析等したうえで、より有権者の利便性の良い駅周辺や商業施設への設置を検討

都道府県別投票率(衆議院小選挙区、参議院選挙区)

(単位: %)

都道府県	R8 衆議院	順位	R7 参議院	順位	R6 衆院選	順位	R4 参議院	順位	R3 衆議院	順位	R元 参議院	順位	H29 衆議院	順位	都道府県	R8 衆議院	順位	R7 参議院	順位	R6 衆院選	順位	R4 参議院	順位	R3 衆議院	順位	R元 参議院	順位	H29 衆議院	順位
北海道	57.93	14	59.69	13	56.15	12	53.98	13	58.79	8	53.76	7	60.30	7	滋賀県	57.28	17	59.69	13	54.93	20	54.59	11	57.33	18	51.96	10	56.32	19
青森県	49.34	46	54.22	43	51.61	38	49.49	29	52.93	42	42.94	44	54.17	26	京都府	55.32	30	58.73	23	53.12	27	50.91	25	56.32	24	46.42	33	50.90	39
岩手県	59.06	5	59.10	19	55.55	16	55.38	8	60.38	5	56.55	2	59.15	9	大阪府	56.21	22	59.14	18	52.61	29	52.45	19	56.20	26	48.63	23	48.39	46
宮城県	56.08	24	55.37	39	52.16	32	48.80	34	55.87	30	51.17	14	52.83	32	兵庫県	55.85	25	60.47	8	53.67	25	51.62	22	54.29	35	48.60	24	48.62	45
秋田県	57.38	16	58.57	25	59.44	2	55.56	7	58.24	10	56.29	3	60.57	5	奈良県	62.17	1	61.52	4	58.49	4	55.90	6	59.13	7	49.53	20	55.66	23
山形県	60.78	2	62.55	1	60.82	1	61.87	1	64.34	1	60.74	1	64.07	1	和歌山県	55.65	26	59.20	17	56.87	9	52.42	20	58.24	11	50.42	18	52.96	31
福島県	58.51	11	58.39	26	53.93	24	53.40	15	58.01	14	52.41	8	56.69	15	鳥取県	47.69	47	55.04	41	58.10	6	48.93	32	58.16	12	49.98	19	56.43	17
茨城県	52.64	44	54.67	42	52.45	31	47.22	43	52.54	43	45.02	41	51.53	37	島根県	55.46	29	59.57	15	58.14	5	56.37	4	61.55	3	54.04	6	60.64	4
栃木県	53.00	43	53.56	46	50.24	43	46.98	44	53.06	41	44.14	43	51.65	36	岡山県	53.82	37	54.18	44	50.24	44	47.23	42	50.94	46	45.08	40	50.09	43
群馬県	53.38	40	55.12	40	49.92	46	48.49	38	53.89	37	48.18	25	51.97	33	広島県	50.02	45	53.90	45	48.40	47	46.79	45	52.13	44	44.67	42	50.17	42
埼玉県	53.42	39	56.88	30	51.14	40	50.25	27	53.97	36	46.48	32	51.44	38	山口県	56.16	23	55.43	38	52.07	34	47.59	39	49.67	47	47.32	28	55.23	24
千葉県	53.80	38	55.74	36	52.14	33	50.01	28	53.64	40	45.28	38	49.89	44	徳島県	54.82	33	50.48	47	50.81	41	45.72	47	53.86	38	38.59	47	46.47	47
東京都	59.16	4	61.53	3	56.06	13	56.55	3	57.21	20	51.77	11	53.64	28	香川県	56.57	20	56.46	33	52.94	28	49.22	30	56.09	28	45.31	37	53.08	30
神奈川県	55.65	26	60.30	10	54.53	22	54.51	12	56.29	25	48.73	22	51.97	34	愛媛県	55.63	28	56.74	32	51.95	37	48.81	33	54.98	32	52.39	9	50.74	40
新潟県	58.88	9	61.67	2	58.56	3	55.32	9	63.16	2	55.31	4	62.56	2	高知県	54.94	31	56.89	29	51.97	36	47.36	41	57.34	17	46.34	34	51.87	35
富山県	53.25	42	58.12	27	54.69	21	51.37	23	55.68	31	46.88	31	54.00	27	福岡県	54.41	35	55.66	37	51.59	39	48.76	35	52.12	45	42.85	45	53.31	29
石川県	56.26	21	58.69	24	55.09	19	46.41	46	57.13	21	47.00	30	58.16	10	佐賀県	58.94	7	60.14	12	55.99	14	51.12	24	58.49	9	45.25	39	59.46	8
福井県	54.29	36	60.80	7	57.39	7	55.32	9	57.77	15	47.64	27	55.92	22	長崎県	56.97	18	55.78	35	52.48	30	48.72	36	56.89	22	45.46	36	57.29	11
山梨県	58.52	10	61.47	5	56.76	10	56.23	5	60.57	4	51.56	13	60.71	3	熊本県	56.70	19	59.03	20	52.06	35	49.12	31	56.40	23	47.23	29	57.02	13
長野県	60.32	3	61.11	6	57.21	8	57.70	2	59.77	6	54.29	5	60.40	6	大分県	58.33	12	58.98	22	55.42	17	52.98	16	57.26	19	50.54	16	56.98	14
岐阜県	58.15	13	59.01	21	55.39	18	53.59	14	58.10	13	51.00	15	56.55	16	宮崎県	53.37	41	57.19	28	50.61	42	47.52	40	53.66	39	41.79	46	50.48	41
静岡県	58.91	8	59.51	16	55.59	15	52.97	17	54.81	34	50.46	17	56.32	19	鹿児島県	54.90	32	56.46	33	53.49	26	48.63	37	57.71	16	45.75	35	56.09	21
愛知県	58.96	6	60.15	11	54.50	23	52.18	21	55.97	29	48.18	25	54.65	25	沖縄県	54.44	34	56.75	31	49.96	45	50.56	26	54.90	33	49.00	21	56.38	18
三重県	57.82	15	60.45	9	56.21	11	52.78	18	56.17	27	51.69	12	57.09	12	合 計	56.26		58.51		53.85		52.05		55.93		48.80		53.68	

主権者教育の推進に関する有識者会議とりまとめ(平成29年3月)

第2 主権者教育の考えられる方向制

2. 発達段階に応じた取り組みの方向制

(1) 高校入学以前の子ども段階における取組(抄)

平成28年の公選法改正により拡大された投票所への子どもへの入場について、親子一緒に投票所に行くことは将来の投票参加に効果的であり、ほかでは得られない貴重な学習の機会となることから、家族揃っての投票を働きかけていくことも有効な取組といえよう。

令和5年4月27日(木) 衆議院・総務委員会

○ 山形県の投票率は高い傾向にあるが、プラスとなる要因等について総務大臣はどのような所見を持っているか。

○ 松本国務大臣

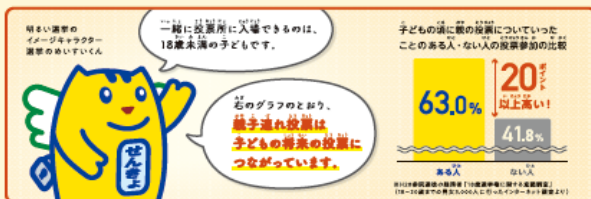
投票率につきましては、個々の選挙ごとに異なる選挙の争点など、様々な事情が総合的に影響するといったことがございますので、その要因は一概になかなか申し上げにくいところではありますが、今委員から御指摘がありましたように、国政選挙における山形県の投票率は、継続的に全国でも上位にあるということは私も報告を受けているところでございます。

山形県では、家族ぐるみの投票や子連れ投票の呼びかけなどに取り組まれているということでございまして、さきの参議院選挙後に実施された高校三年生向けアンケートでは、投票に行った方の九割が家族と行ったと回答しているというふうにお聞きをしました。

親子一緒に投票所に行くことは、子供の将来の投票参加につながっていくことが考えられ、他には得られない貴重な学習の機会となることから、総務省では、子供を持つ世代に対して、子供を連れての投票の推進に取り組んでいるところでございます。(以下略)

あなたの背中を見て、将来子どもたちも投票へ

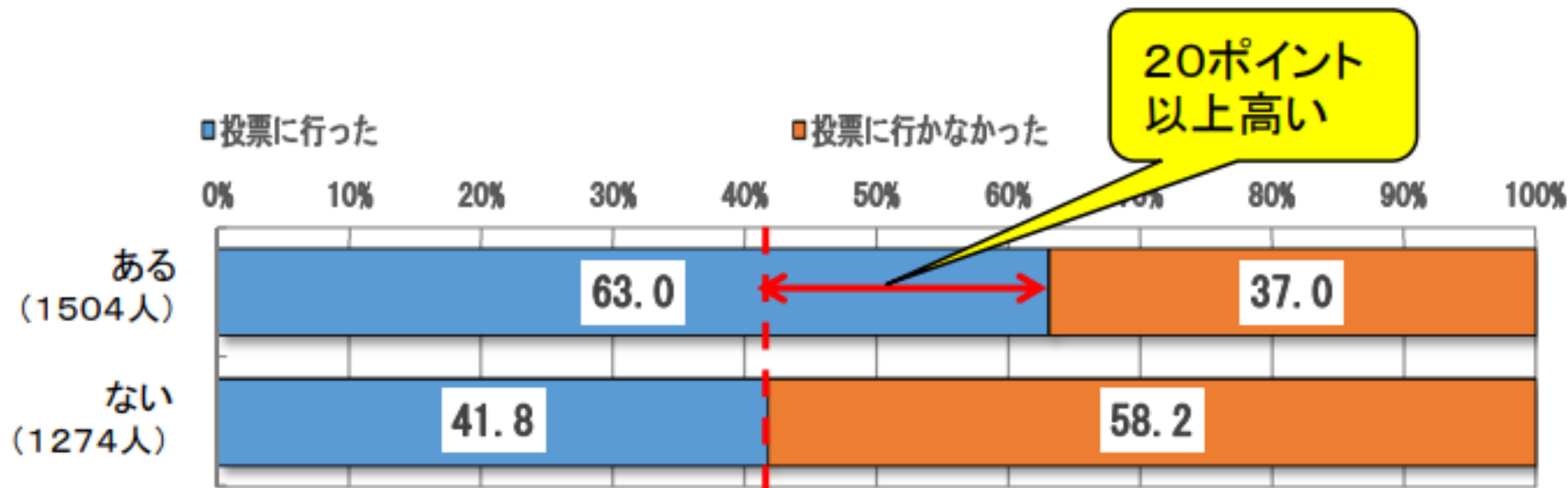
～子どもと一緒に選挙にいこう～



18歳選挙権に関する意識調査(総務省)

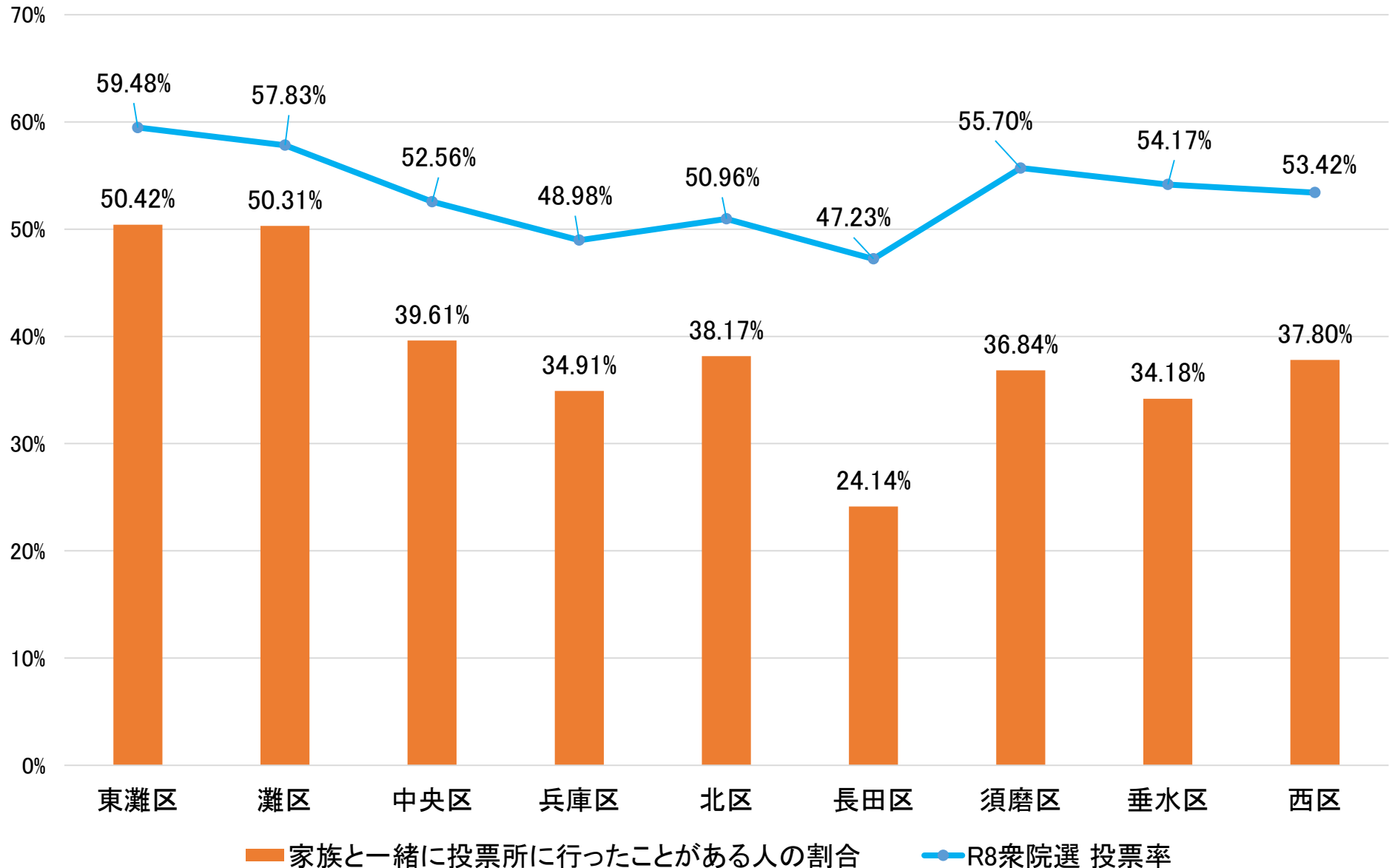
子どもの頃に親が行く投票について行った人の投票

- 子どもの頃に親が行く投票について行ったことが「ある」人の方が、投票した割合が20ポイント以上高い



平成28年の公選法改正により、主権者教育の観点から、投票所に入場できる子供について必要以上に制限的な解釈が行われることがないよう規定を整備

親子連れ投票と投票率の関係(R7選挙出前授業アンケート結果)



※ 令和7年度に神戸市が実施した選挙出前授業を実施した小中学校及び特別支援学校の児童・生徒に対するアンケート結果を基に作成

主権者教育の推進①(選挙出前授業の積極的展開)

【主権者教育とは(「常時啓発事業のあり方等研究会」(H23.12総務省))】

国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと

【これまでの状況】

- 平成27年に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳に引き下げられて以降、主権者教育の重要性は増しており、全国各地で選挙出前授業等が行われている。
- 神戸市においても、これまで高校(支援学校を含む。)を中心に選挙出前授業を実施してきたが、近年の実施回数は指定都市の中では下位にとどまっていた。



北須磨高校での選挙出前授業の様子(R5.12)

【神戸市の選挙出前授業の実績】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校数	11	13	7	7	6	3	3	5	6	25	36
内訳	小2 高9	高12 大1	高6 大1	中1 高6	高6	高3	高3	高4 大1	高5 大1	小14 中1 高6 大4	小21 中6 高5 大4

- ・ 子どもの頃に親の選挙と一緒にいった経験が将来の投票行動に影響
- ・ 模擬投票の体験は政治・選挙に関心を持つ「きっかけ」となり得る
- ・ 低年齢時から主権者教育を実施している北欧では高投票率
- ・ 真偽不明の情報が溢れる中において情報リテラシーの重要性の増大 等

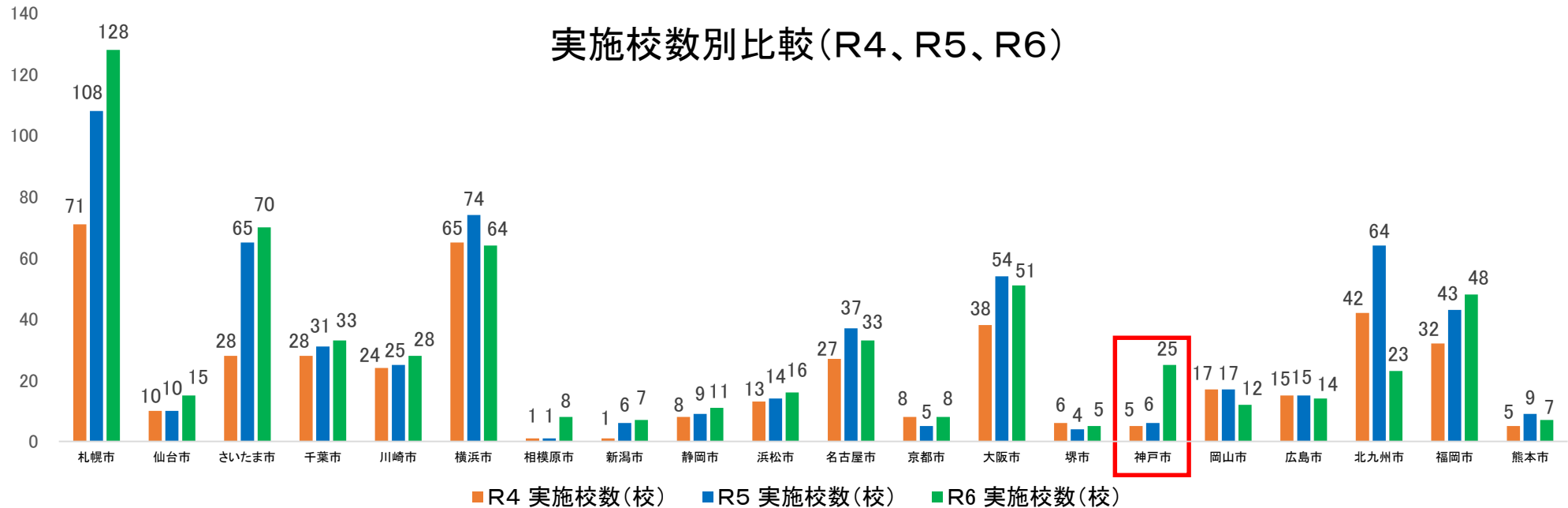


令和6年度から方針を大きく転換

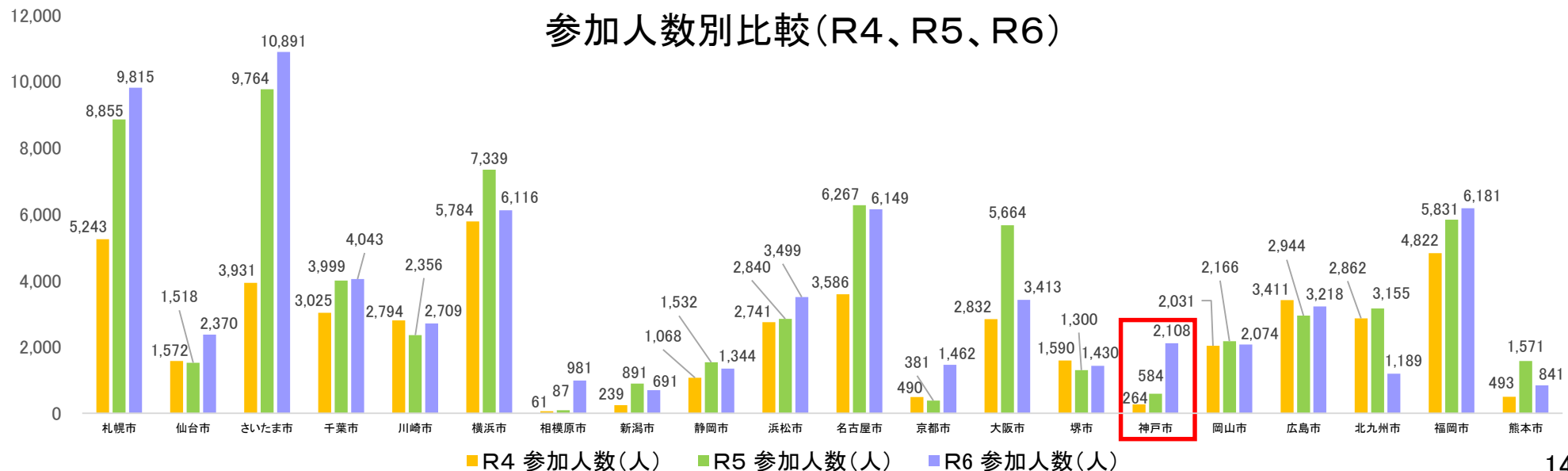
小中学校を含めて選挙出前授業・講義を積極的に展開。情報リテラシーについても併せて周知。

主権者教育の推進②(指定都市における選挙出前授業の実績)

実施校数別比較(R4、R5、R6)



参加人数別比較(R4、R5、R6)



主権者教育の推進③(大学との連携)

【神戸女子大学との連携協定の締結】

[目的]

令和7年度に教育学部を新設(改組)し、教員の養成に注力する神戸女子大学と、小中学校や特別支援学校における選挙出前授業の実施を含む主権者教育を推進する神戸市選挙管理委員会が、双方の強みを生かして諸活動を展開する中で、教育を通じた人材育成や投票率の向上等を図ることを目的に協定を締結(令和7年3月24日)。

[今後想定される主な活動]

- ・ 神戸女子大学が選挙をテーマとした講座(有権者であることの意義、投票率の向上に向けた施策のあり方等)を実施する際に、神戸市選挙管理委員会が選挙を取り巻く状況等について説明
- ・ 神戸市選挙管理委員会が実施する小中学校や特別支援学校における選挙出前授業において、神戸女子大学の学生が授業を補佐・担当
- ・ 投票管理者、投票立会人を含む選挙事務従事者への学生の登用推進 等

[期待される主な効果]

- ・ 若者の政治・選挙に対する意識の醸成・高揚
- ・ 選挙出前授業の質の向上

※ 特別支援学校で授業を実施する際は高い専門性が求められるところ、神戸女子大学は障害児・者教育に係る知見も豊富であることから、授業中の反応やニーズ等を踏まえながら、より児童・生徒に寄り添った授業内容にレベルアップ

- ・ 幅広い知見を有する優秀な教員の養成 等



連携協定締結式の様子

主権者教育の推進④(大学生・高校生による選挙事務の従事)

- 令和7年の参議院議員通常選挙では、約190人の大学生と高校生が選挙事務に従事
これとは別に、13名の大学生が投票立会人
として職務を遂行(市選管が一括募集)
- 若者が選挙事務に従事することで、他の選挙事務従事者にも活気
- 大学生・高校生からは、「また選挙事務に携わりたい」といった好意的な声が多数
- 投票所の明るい雰囲気を醸成するため、投票所内で音楽を流す取組も併せて実施(須磨区選管)



- ① 今後執行される各種選挙においても、引き続き大学生・高校生が選挙事務に従事してもらえるよう積極的に周知
- ② 投票管理者・投票立会人への若者の登用を推進
(今般の物価変動等を勘案し、投票管理者・投票立会人の報酬を4,000円以上引上げ(R7.4～))

主権者教育の推進⑤(その他の取組)

大学生との協働

- 連携協定を締結した神戸女子大学の学生といぶき明生支援学校で選挙出前授業を実施
(※ NHK、サンテレビ、朝日新聞が取材・報道)
住吉小学校の授業では、学生が全て企画・運営
- 甲南大学(三谷ゼミ)のゼミ生と、高校生を対象にした主権者教育のあり方等について意見交換及び議場見学
(※ 一部のゼミ生とは、別途、個別テーマについて議論)
- 甲南大学(三谷ゼミ)のゼミ生等が考案した教材を活用して、育英高校で選挙出前授業を実施
(※ 模擬投票の候補者役等もゼミ生が自ら担当)

議場見学

- 神戸市議会の議場を見学に来る小中学生や高校生、大学生に対して、神戸市の投票率の状況や有権者になることの意義等について説明
(※ 議場見学の内容
 - ・市会事務局による説明
 - ・選挙管理委員会事務局による説明
 - ・議員との意見交換 等)

高校生との協働

- 星陵高校(3年生)の「探究の時間」で提案されたアイデアの一部を市長選挙の啓発に採用
(※ 投票所内の様子が分かる動画の作成・放映等)
更に1年生からも投票率の向上に向けた施策に係るアイデアを募集
- 葺合高校、関西学院高等部の高校生と、若者の投票率の向上を図るための施策のあり方やインターネットを使った啓発手法等について意見交換
(※ いずれの高校生とも事務局長室で意見交換を行った後、議場を見学)

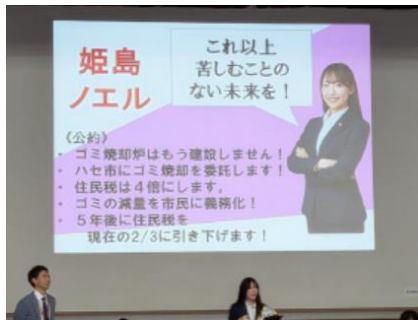
区民政治選挙講座等

- 婦人政治選挙講座を発展的に解消し、広く市民を対象とした講座として再編
(※ 市内各区分の投票率や(期日前)投票所の設置状況等の説明のほか、出前授業を含む投票率の向上を図るための施策について意見交換等)
- 今後の施策の方向性等について、複数の選挙管理委員と意見交換

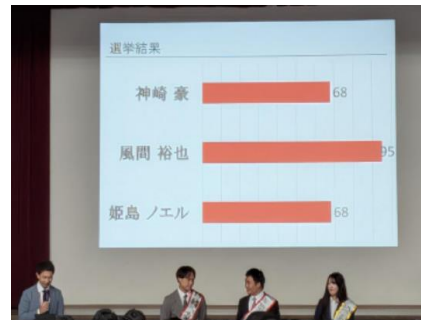
主権者教育の推進⑥(大学生との協働例)

甲南大学

- 三谷准教授(法学部)とゼミ生が主権者教育に係る教材を独自に開発し、ロールプレイング方式で選挙出前授業を実施(育英高校等)
- ロールプレイングでは、選挙公約の説明にとどまらず、真偽不明の情報の流布を含めて、実際の選挙に近い状況を再現
併せて、スマートフォンを使用してポータルマッチや世論調査も実施
- 選挙出前授業では、学生が候補者役を含め、高校生からの質疑にも対応
授業の最後に、民主主義のルール等を解説



候補者役の学生による選挙公約の説明と高校生からの質疑への対応



選挙結果の公表と振り返り

神戸女子大学

- 将来、教員を目指す学生が、小学校や特別支援学校における選挙出前授業のサポートを経験する中で、より効果的な授業のあり方についてゼミ(上野教授(教育学部))で検討
- ゼミでは、児童が「自分で考えて行動する」ことをテーマに、選挙出前授業のオペレーションや選挙公約の内容を吟味(児童は、自分が気になる候補者の演説を2人まで聞けるように工夫)
- 小学校における選挙出前授業では、学生が候補者役を含め、選挙公約を紙のスライドを用いて児童に分かりやすく説明



特別支援学校における選挙出前授業を終えて、マスコミの取材を受ける学生



紙のスライドを用いて選挙公約の内容を説明する学生

現状を踏まえた今後の施策展開の方向性

【直近の国政選挙(R6衆、R7参、R8衆)における投票所密度と投票率の現状】

[指定都市間の比較]

神戸市の投票所密度(有権者1万人当たりの投票所設置数)は、20指定都市の中では6番目に高いが、投票率は、R6衆議院選挙では9番目、R7参議院選挙では5番目、R8衆議院選挙では16番目となっている。

また、有権者が100万人を超える9指定都市に限ると、神戸市は投票所密度が最も高いが、投票率はR6衆議院選挙では5番目、R7参議院選挙では4番目、R8衆議院選挙に至っては最下位となっており、良好な投票環境が必ずしも投票率の向上に結びついていないとは言えない。

[行政区間の比較]

投票所密度は長田区と兵庫区が高く、東灘区や垂水区、灘区は低い一方で、投票率は東灘区と灘区が高く、長田区と兵庫区は低くなる逆転現象が起きている。

なお、選挙の種類が異なっても、長田区と兵庫区の投票率は低い傾向にある。

【仮説】

- 投票所密度が高いにも関わらず投票率が低い地域は、他の地域に比べて政治・選挙に対する関心が元々低いのではないかな？
- 「子どもの頃に親の選挙と一緒にいった経験が将来の投票行動に影響する」との有識者の指摘を踏まえれば、特に投票率が低い地域の小中学校において重点的に選挙出前授業を展開することは、将来的な投票率の向上につながるのではないかな？

今後の方向性

- 選挙出前授業は、毎年50校で実施することを目標としたうえで、長田区と兵庫区を重点地域とする。
また、授業内容については、大学の知見等も得ながら、質の向上を図る。
- 投票所の安易な統廃合は投票率の低下に直結することから、できるだけ現在の投票所数を維持する。
- 現在の期日前投票所の効果検証を行ったうえで、合同期日前投票所の設置に向けた研究を進める。

●ラジオ関西ニュースサイト（ラジトピ）の記事

未来の有権者に選挙への関心を高めてもらおうと、神戸市選挙管理委員会と神戸女子大学（同市須磨区）による「選挙出前授業」が神戸市立青陽須磨支援学校（同）でこのほど開かれた。高等部3年生約50人が参加し、選挙の仕組みや投票方法を学びながら、模擬投票を体験した。



授業ではまず、選管職員がスライドを使って講義を行い、選挙の仕組みや投票の流れなどについて分かりやすく説明。「今年の衆議院での10代の投票率は？」「投票用紙の特別な加工とは？」との三択クイズには、たくさんの生徒が挙手、答えが明かされると「ええっ」と驚きの反応もみられた。



続いての模擬投票では、1人で投票することが難しい有権者を支援する「代理投票」の方法について説明。神戸女子大学の学生らが補助役となり、投票をサポートする場面を再現した。さらに、学生が候補者役となってマイクを手に模擬演説も。身近なテーマを織り込んだ演説内容に、時折笑い声が上がった。



候補者に扮し、演説を行う神戸女子大学の学生

投票では、実際の選挙で使われる投票箱や記載台を使用。生徒たちが名簿対照や投票用紙交付の流れを体験しながら、1票を投じた。投票後、明るい選挙のイメージキャラクター「めいすいくん」のシールが手渡されると、うれしそうな表情を浮かべる生徒も。開票は生徒が務め、選管職員が補助しながら票を計数機に投入。生徒たちは瞬時に枚数が判明する様子を興味深げに見つめていた。



計数機に投票用紙を投入

結果発表後の質疑応答では、「実際の選挙では開票にどれくらい時間がかかりますか」との質問が出た。「午後9時半から11時半、午前0時ごろまで」と選管職員が答えると、納得したようにうなずく生徒もいた。

今回参加した学生は、神戸女子大学教育学部の上野昌穂教授のゼミに在籍する4年生4人で、全員が教職希望。上野教授は「有権者になったばかり、あるいはもうすぐ有権者となる生徒たちに選挙を身近に感じてもらう良いタイミングだったのでは。大学生にとっても実際の教育現場で教える体験ができて良かった」と話した。参加した同大学の松林咲希さん（21）は「代理投票のほかにも、投票しにくい人に向けたさまざまな取り組みが広がっていけば良いと思う」と期待を寄せた。



小学生に投票の大切さを知ってもらおうと、神戸女子大学の学生が講師を務める「選挙出前授業」が、兵庫区の神戸祇園小学校であった。6年生119人が受講し、実物の投票箱や用紙を使った模擬投票を体験した。(羽生岳志)

兵庫区の神戸祇園小

選挙の仕組み児童が学ぶ

神戸女子大の学生が出前授業

教員を目指す学生に学校現場での経験を積んでもらおうと神戸市選挙管理委員会と神戸女子大が共同で実施。子どもたちの政治に対する関心を高めながら、大學生の学びにもつながる狙いがある。

22日にあった授業では、4年生の松林咲希さん(21)が、クイズを交えて選挙制

度を説明。若年層の投票率が中高年層に比べて低調であることを伝え、「一度、親御さんと一緒に投票所へ足を運んでみて」と呼びかけた。

学生3人が市長選の候補者になりきる模擬選挙もあつた。空き地の活用を争点に、「子どもが遊べる公園をつくる」「防災施設を建てて命を守る」「畑や野菜を売る市場として使う」などそれぞれの公約を有権者役の児童にアピールした。

その後のグループミーティングでは、児童が2人の候補者を選び、公約について質問を重ねて深掘りした。実際の選挙で、どの候補者の話を聞きに行くかを自分で判断する大切さを植え付けける狙いがあるという。

それぞれの訴えを聞き終えた児童は、記載台で用紙に記入し、投票箱に一票を投じた。丸山葵惟さん(11)は「候補者の話に実際に関わりたいかどうかわからない。選挙権をもらったとき

に、今日の授業を思い出し、今日に『選挙』に思いついた」と話した。

講師を務めた松林さんは「クイズや演説で授業を盛り上げるのができた」と手応えを感じた様子。この日のために、1カ月準備をした。

してきたといい、「自分なりに『選挙』に対する意識を変えてみよう」と思いついて臨み、選挙公報に目を通すなど選挙について詳しく知るきっかけにもなった」と話した。

「誰に入れようかな…。模擬投票で一票を投じる児童ら=いずれも神戸祇園小学校」

模擬投票も体験



選挙制度について児童に説明する松林咲希さん

5月26日 神戸新聞 朝刊

令和8年度 選挙啓発活動(予定)一覧

※令和8年6月15日現在

1. 選挙出前授業

番号	授業実施日	開始時刻	終了時刻	区名	学校名	対象	模擬投票有無
1	2026/5/12(火)	10:40	12:10	2_灘区	神戸大学	1年生・法学部・129名	－
2	2026/5/15(金)	10:40	16:10	9_西区	流通科学大学	公務員希望者・25名	－
3	2026/5/20(水)	10:45	11:35	7_須磨区	青陽須磨支援学校	高等部3年・6クラス・48名	有り
4	2026/5/22(金)	10:50	12:30	4_兵庫区	神戸祇園小学校	6年・4クラス・125名	有り
5	2026/6/11(木)	13:50	15:25	2_灘区	灘の浜小学校	6年・3クラス・98名	有り
6	2026/6/18(木)	14:40	16:10	1_東灘区	甲南大学	2年生・法学部・ 名	－
7	2026/6/19(金)	13:40	15:15	5_北区	鈴蘭台小学校	6年・2クラス・58名	有り
8	2026/7/8(水)	10:40	12:20	6_長田区	池田小学校	6年・2クラス・50名	有り
9	2026/7/9(木)	13:00	13:50	6_長田区	神戸野田高校	3年・10クラス・321名	－
10	2026/7/14(火)	9:55	11:45	8_垂水区	舞子高校	3年・6クラス・234名	有り
11	2026/9/7(月)or 14(月)	9:45	10:30	4_兵庫区	会下山小学校	6年・3クラス・103名	有り
12	秋頃			7_須磨区	竜が台小学校	6年・1クラス・18名	有り
13	2026/12/3(木)	10:40	12:20	9_西区	玉津第一小学校	6年・2クラス・68名	有り
14	2026/12/21(月)	13:40	15:15	5_北区	好徳小学校	6年・1クラス・10名	有り
15	2027/1/18(月)	10:50	12:25	6_長田区	名倉小学校	6年・1クラス・37名	有り
16	1月下旬			9_西区	狩場台小学校	6年・2クラス・38名	有り
17	1月下旬			5_北区	花山小学校	6年・2クラス・54名	有り
18	2027/1/29(金)	13:35	15:15	6_長田区	五位の池小学校	6年・2クラス・53名	有り
19	2/2～2/5希望			2_灘区	高羽小学校	6年・6クラス・180名	有り
20	2/2or 2/4	10:45 13:50	12:25 15:25	7_須磨区	松尾小学校	6年・1クラス・31名	有り
21	2月上旬			2_灘区	西郷小学校	6年・3クラス・100名	有り
22	2月中旬			2_灘区	福住小学校	6年・3クラス・75名	有り
23	2月下旬			9_西区	いぶき明生支援学校	2年・49名	有り

2. 議場見学、意見交換会等

番号	実施日	開始時刻	終了時刻	区名	学校名	対象	内容
1	2026/4/16(木)	15:30	17:00	1_東灘区	甲南大学	法学部・14名(三谷ゼミ)	議場見学、意見交換会
2	2026/6/12(金)	10:00	11:00	5_北区	鈴蘭台小学校	6年・58名	議場見学
3	2026/6/20(土)	13:00	16:00	1_東灘区	甲南大学	高校生、大学生・50名程度	ワークショップ
4	2026/7/30(木)	11:30	12:30	2_灘区	六甲学院中学校	2年・20名	議場見学

3. 選挙啓発イベント

(1)市主催

番号	実施日	開始時刻	終了時刻	区名	イベント名	参加者	内容
1	2026/5/14(木)	14:00	18:00	2_灘区	模擬投票イベント ～みんなで体験!!クラス選挙～(浜田 自治会館)	約100名	模擬投票、投票用紙100枚当てクイズ等

(2)区主催

番号	実施日	開始時刻	終了時刻	区名	イベント名	参加者	内容
1	2026/5/9(土)	10:30	17:00	1_東灘区	第53回東灘うらはらまつり	約700名	パネル展示、クイズ、投票用紙100枚当てクイズ等
2	2026/5/16(土)	11:00	16:00	3_中央区	ふれあい中央カーニバル2026	約1,000名	投票箱に絵を描く、選挙のまちがい探し
3	2026/5/16(土)	11:00	17:00	4_兵庫区	第53回神戸まつり「はっぴいひろば」	786名	模擬投票、選挙啓発パネル展示等
4	2026/5/16(土)	10:00	16:30	8_垂水区	たるみっこまつり2026	約700名(模擬投票約320名)	模擬投票、投票用紙100枚当てクイズ等
5	2026/5/23(土)	11:00	16:00	6_長田区	第53回神戸まつり長田フェスティバル	約800名	啓発グッズの配布、投票用紙100枚当てクイズ
6	2026/5/23(土)	11:00	15:00	7_須磨区	第53回神戸まつり「須磨音楽の森」	約400名	啓発ポスター展示、投票用紙100当てクイズ等
7	2026/5/23(土)	12:00	17:00	9_西区	第41回西区みどりと太陽のまつり	約800名(模擬投票711名)	模擬投票、投票用紙100枚当てクイズ
8	2026/5/30(土)	11:00	17:00	2_灘区	第53回六甲ファミリーまつり	約400名	投票用紙100枚当てクイズ、選挙啓発グッズの配布等
9	2026/5/30(土)	11:30	17:00	5_北区	第50回きたきたまつり	約600名(模擬投票447名)	模擬投票、投票用紙100枚当てクイズ

小学校・特別支援学校における出前授業の実践報告

神戸女子大学 文学部教育学科 4 回生

松林 咲希

1. いぶき明生支援学校でのアピールからスタート

2. ゼミでの研究を通して

- ① スウェーデンの取り組み
- ② より効果的な模擬選挙のために
- ③ 争点が明確であること
(3つの争点)
 - ・子どもたちの遊び場・スポーツ施設
 - ・地域交流と防災のための複合施設
 - ・環境学習・世代間交流のための農園・市場
- ④ 自分で候補を選択し、自ら聞きに行き、質問してみる経験

3. 選挙に関する講話から（特に伝えたい内容）

- ・「選挙」は自分ごととして捉えよう
- ・今度、選挙に連れて行ってもらう

4. 小学校・特別支援学校での授業を通して

- ・模擬投票 児童の様子から

5. 今後の課題と感想

（課題） 模擬投票のさらなるブラッシュアップ

（感想） 他大学との連携ができれば…

小学校・特別支援学校における出前授業の 実践報告

神戸女子大学 文学部
教育学科 4 回生
松林 咲希

スタート いぶき明生支援学校でのアピール



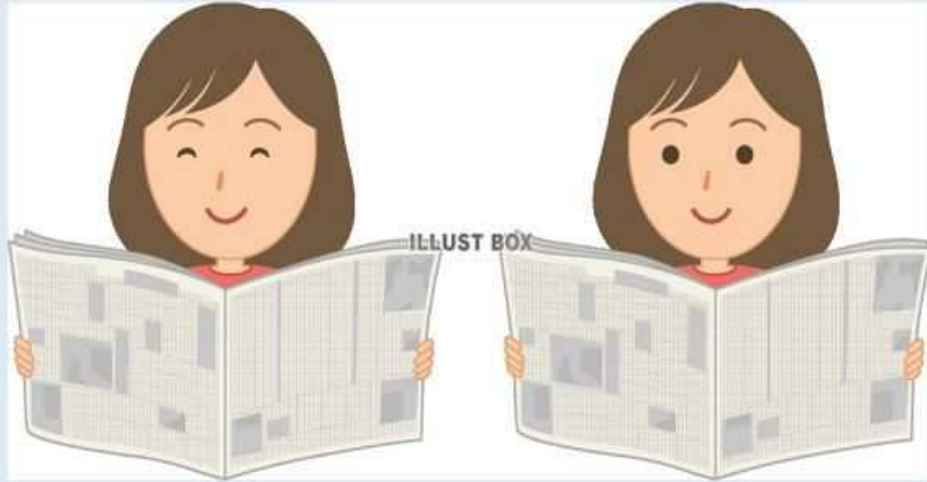
とうひょう さんか わたし いけん
投票に参加して、私たちの意見をアピールしよう

わたし だい だい せだい かつやく しゃかい
私たち（10代、20代）の世代が、活躍できる社会をつくるために！

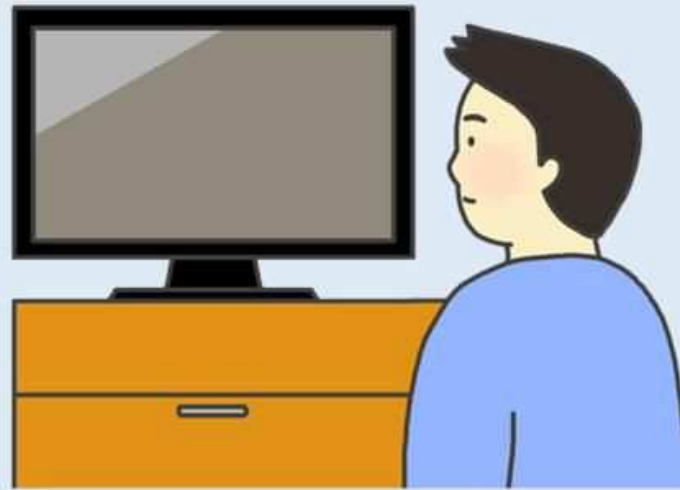


だれ じょうほう あつ
「誰にしようかな？」 情報を集めましょう

たと
例えば…



せんきょこうほう み
選挙公報を見たり



テレビやパソコンから



がいとうえんぜつ き
街頭演説を聞いたり

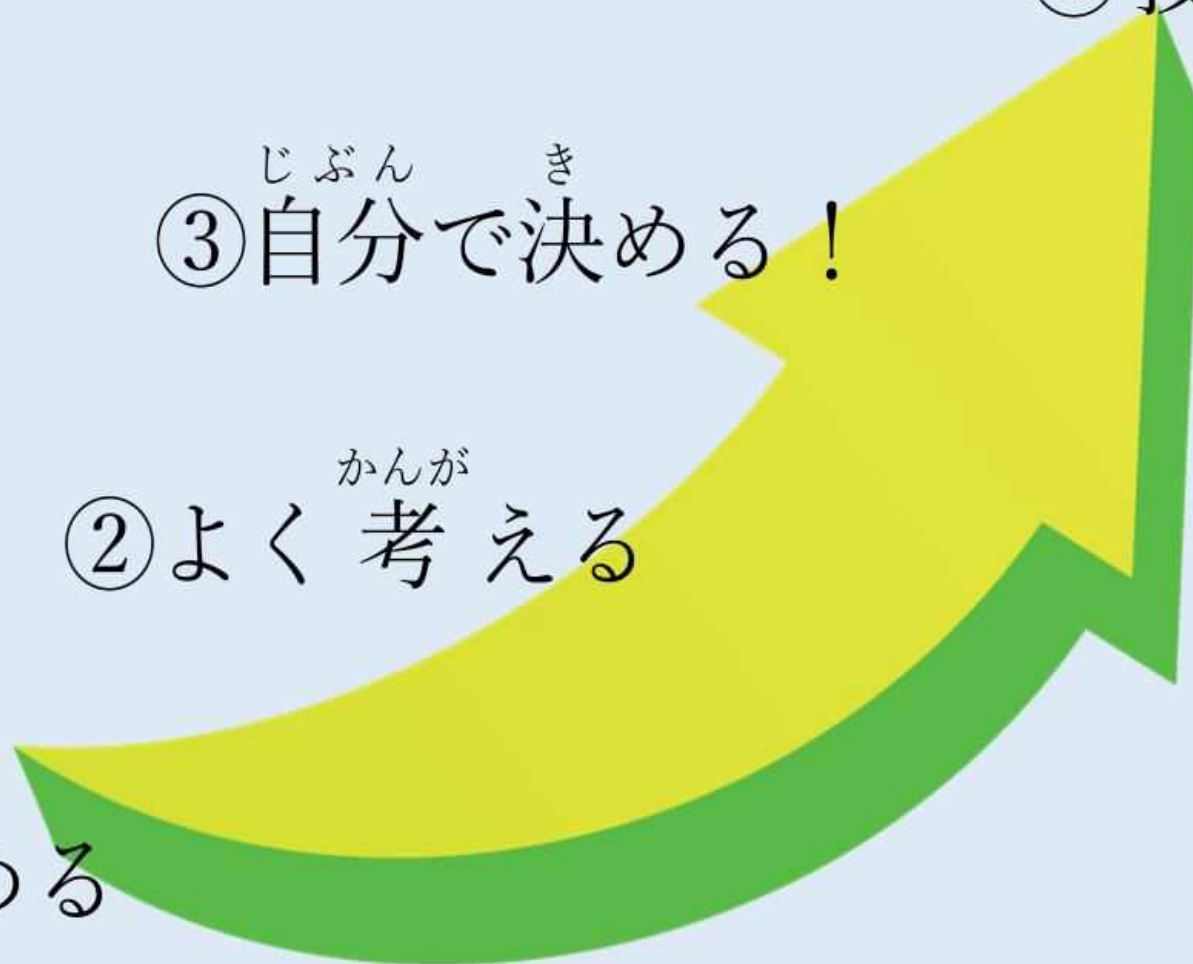
せんきょ い じゅんばん さい せんきょけん
選挙に行くときの順番は？ 18歳から選挙権！

とうひょう い
④投票に行く！

じぶん き
③自分で決める！

かんが
②よく考える

じょうほう あつ
①情報を集める



かぞく せんきょ はな
まずは、「家族と選挙のことを話す」

も ぎ どうひょう
「模擬投票したよ」

じぶん え ら
「自分で選んだよ」

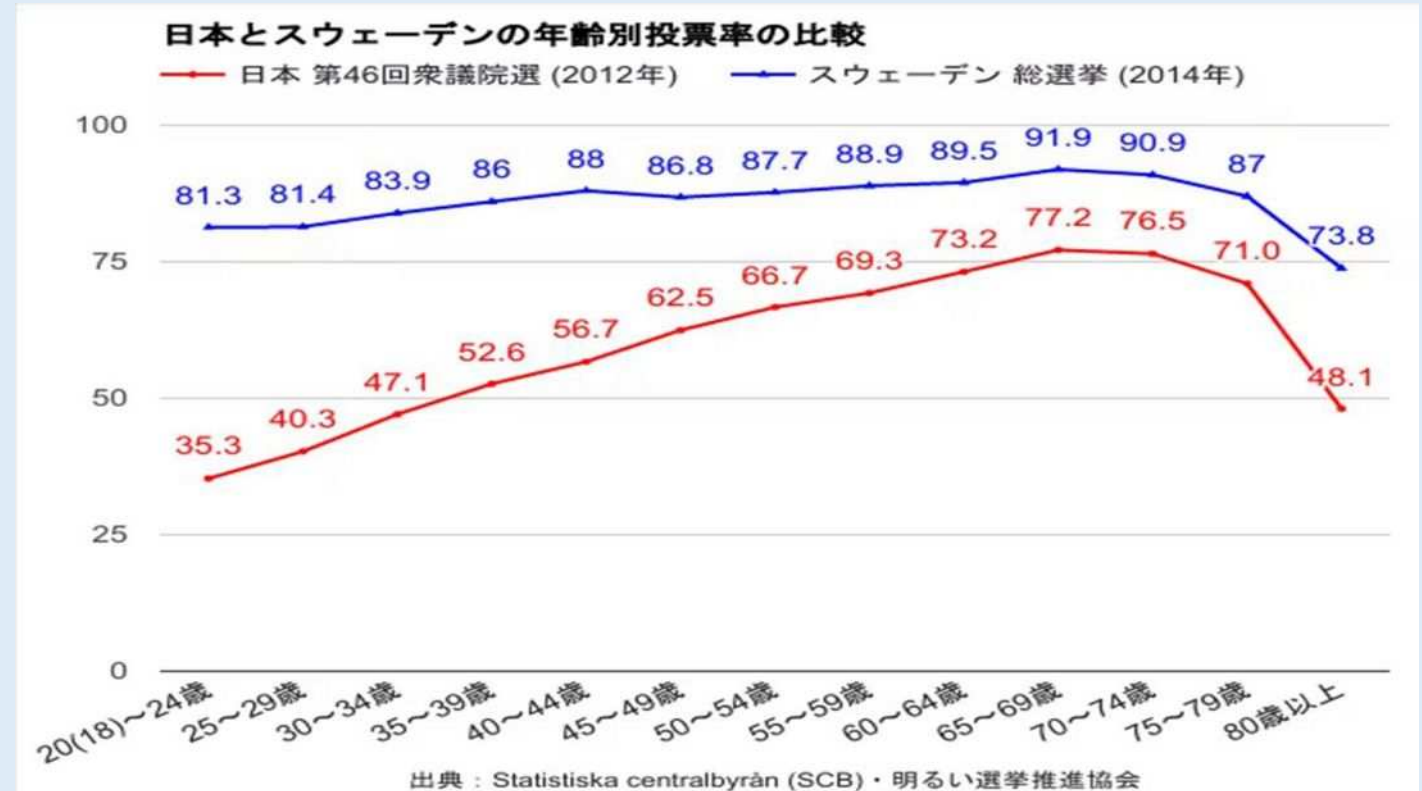
どうひょう だいじ
「投票は大事だね」

どうひょうじょう い
「いっしょに投票場に行こうね」

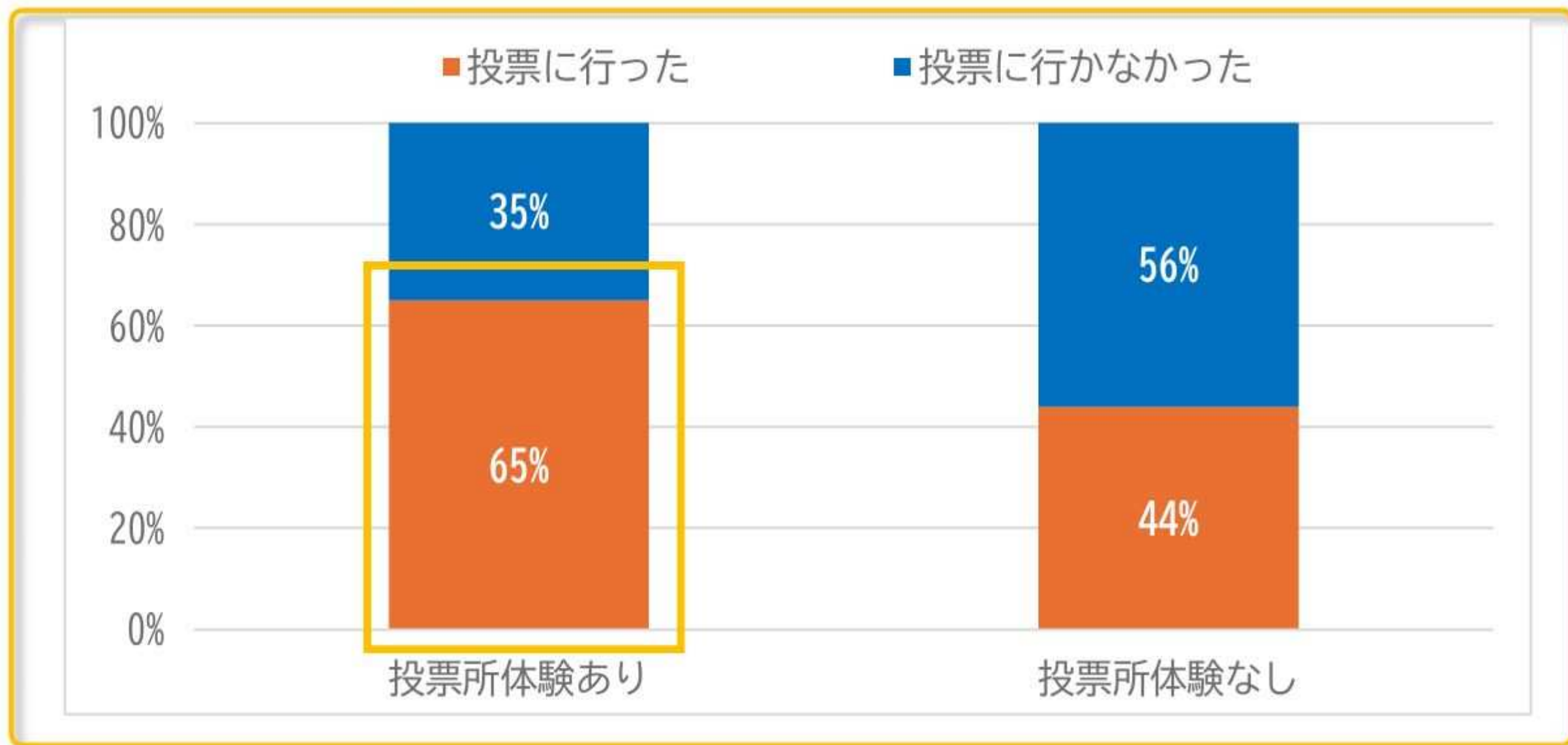


その2 ゼミでの研究

① スウェーデンの取り組み



- ・ スウェーデン：全国規模で実施、本物の政党・投票箱を使用
- ・ 日本：学校ごとに実施、各自治体の取り組みによる
本物の投票箱や投票用紙を使用（神戸市）



(令和4年7月明推協第26回参議院議員通常選挙選挙前・選挙後調査)

より効果的な模擬選挙のために

- いいタイミングで「親子で投票所に行くことが大切」であることを呼びかけ、呼びかけチラシを家庭に持ち帰るようにする
- **親子で選挙や政治についての話題ができることが大切であることも伝える**
- 私たちの世代は、自分たちの生活圏により近い場所に投票所があることが投票率を上げるためのポイントではないかを感じる

争点（そうてん） ってなに？

- ・ みんなで考える“社会の問題”のこと

例：子どもが安心して学校に通える？

例：町を安全にするには？

児童にとって実感できる争点は？

- ① 何をがんばってほしいかが分かりやすい
- ② どの人が自分の考えに近いかが分かる

争点が明確・自己選択・自己決定

ポイント

- ・「運動か、防災か、世代間交流か」争点を絞る
- ・優劣なく、自己主張できる
- ・自己選択し、自分で動いてみる
(デメリットについても考えることができる)
- ・最後に自己決定する



(仮説)

選挙に参画するイメージをより持てるのではないか

① 子どもたちの遊び場・スポーツ施設

- 総合遊具、ボール遊びなどができる場所
- 体を動かす機会が増える

(課題)

費用や安全管理（夜間の使用など）



② 地域交流と防災のための複合施設

- イベントや地域行事に使える
- 災害時に避難所として利用

(課題)

普段どれだけ活用できるかが課題



③ 環境学習・世代間交流のための農園・市場

- 野菜づくり体験ができる
- 育てた作物を販売するなど
地域とつながる

(課題)

季節や天候の影響を受けやすい

(コストや日々の管理も)



自己選択・自己決定をより明確に

- ・ 3 人の争点を聞き、そのまま投票に移行するよりも



- ① 自分で考え、2 人の候補を選択する
- ② 自ら移動して、2 人の候補の声を聞き、質問する



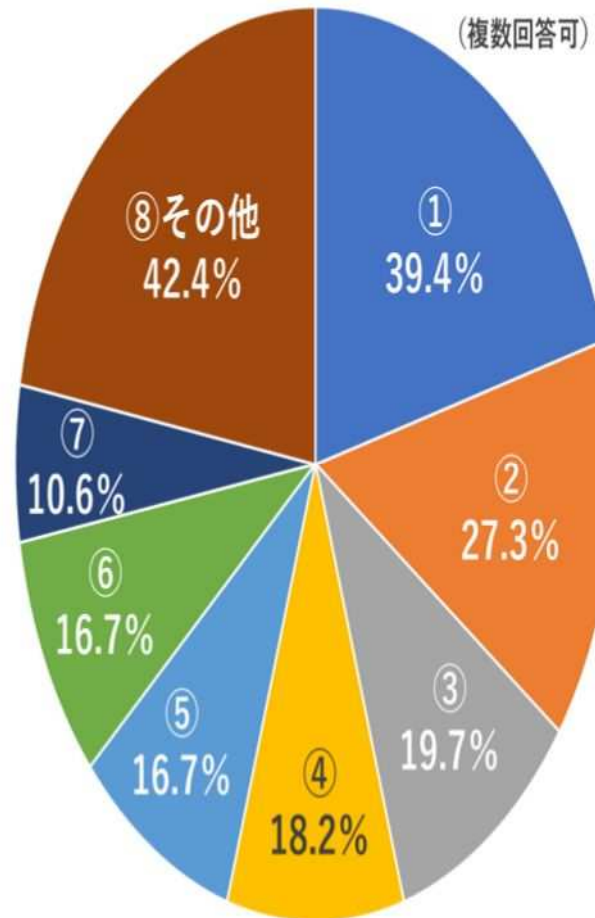
「自己決定し、投票する」

選挙に関する講話から①

10～20代が投票に行かない理由

令和6年衆院選全国意識調査

- ① 選挙にあまり関心がなかったから
- ② 仕事があったから
- ③ 政党の政策や候補者の人物像など、違いがよく分からなかったから
- ④ 政治のことが分からない者は投票しない方がいいと思ったから
- ⑤ 選挙によって政治はよくならないと思ったから
- ⑥ 適当な候補者も政党もなかったから
- ⑦ 私一人が投票しなくても同じだから



35

10～20代が投票に行かない理由

一言で言うと…

自分ごとだと思っていないのでは？

自分には関係ない

自分は困っていない

自分さえ良ければいい



無関心

36

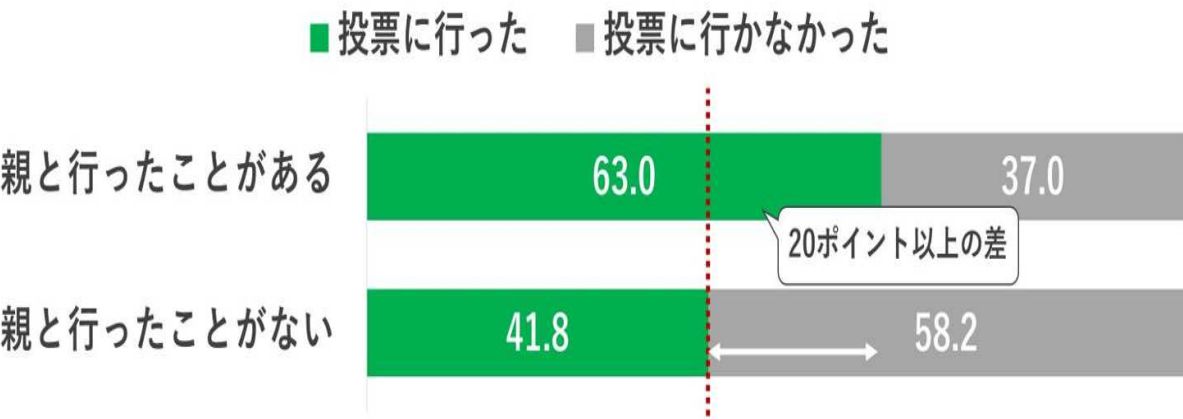
選挙に関する講話から②

山形県と兵庫県の比較

	令和7年 参院選	令和6年 衆院選	令和4年 参院選	令和3年 衆院選	令和元年 参院選
山形県	1位 62.55%	1位 60.82%	1位 61.87%	1位 64.34%	1位 60.74%
兵庫県	8位 60.47%	25位 53.67%	22位 51.62%	35位 54.29%	24位 48.60%

みなさんをお願いしたいこと

子どもの頃、投票所に保護者に行ったことがある人となない人の差



次の選挙から投票所に連れて行ってもらいましょう！

小学校・特別支援学校での授業を通して



模擬投票 児童の様子から

- ① 3人の争点を聞き、素早く2人の候補者のところに移動できた
- ② 関心のある候補者の公約と課題について聞き、様々な質問を児童が主体的にすることの素晴らしさ（少人数になることの成果）
- ③ 投票に関する作業（**名簿対照係・投票用紙交付係・開票係**）を積極的にできた
- ④ 結果発表まで関心を寄せることができた（当選者のコール）
- ⑤ 講話資料の持ち帰り（家庭での話題に役立つ）

今後の課題と感想

【課題】 模擬投票のさらなるブラッシュアップ

（これまで3校の当選結果は、3つの公約がそれぞれ1校ずつ）

- ・短時間で
- ・自己選択
- ・自己決定
- ・自らが行動（情報収集や投票所に向かう力となるように）

【感想】 他大学との連携

- ・最も投票率の低い20代である大学生が連携し、出前授業に参画すれば、全市的に効果があるのではないか

主権者教育・模擬投票 「生協パン総選挙」 活動報告

神戸大学生生活協同組合 学生委員会
小野公暉



2025. 7. 20



BE KOBE



参議院議員 通常選挙

投票済証

神戸市・区選挙管理委員会
神戸市・区明るい選挙推進協議会

SECTION 01

模擬投票の開催と実績

生協パン総選挙 2025 企画概要

開催概要

【イベント名】 生協パン総選挙2025

【開催日時】 令和7年 6/23(月)～6/25(水) 12:00～13:30

【開催場所】 国際文化学部食堂 出口横

【総得票数】 計 629票（有効: 622票 / 無効: 7票）

テーマ決定の経緯

「投票結果を実際に反映できるテーマ」として、専務交渉を通じて生協パン工場との提携を実現。

割引可能なメニューの中から、学生委員が班内相談でメロンパン、塩バターパン、カレードーナツの3種を厳選しました。

生協パン総選挙 投票結果



- メロンパン: 342票 (54.4%)
- 塩バターパン: 189票 (30.0%)
- カレードーナツ: 98票 (15.6%)

メロンパンが過半数を超える圧倒的支持を集めて1位を獲得。次回割引キャンペーンの対象商品へと決定しました。無効票はわずか7票であり、多くの学生が真剣に投票に臨んだことが伺えます。

SECTION 02

メディア・普及活動の成果

Instagramによる選挙啓発実績

投稿タイプ	テーマ	作成者	投稿日	閲覧数 (PV)	いいね - 保存数
主権者教育	不在者投票	安藤	6/24	10,077	45 - 4
主権者教育	住民票の疑問	石坂	6/26	10,017	38 - 2
主権者教育	住民票移転	中村	6/28	9,254	37 - 1
主権者教育	期日前投票	岸田	7/5	8,497	45 - 0
イベント情宣	本番情宣	小野	6/16	10,180	70 - 7
イベント情宣	結果公表	市野瀬	7/2	10,024	72 - 4

割引フェアとリーフレット配布

主権者教育リーフレットの配布

模擬投票の参加者および食堂利用者を中心に、計700部のリーフレットを直接配布し、投票プロセスを分かりやすく解説しました。

結果を即時還元した食堂割引フェア

鶴一ショップにて4日間に渡り、総選挙で1位に輝いた「メロンパン」の50円引きフェアを実施。計720食を完売しました。

購買売り場でのPOP展開

「投票イベントの結果選ばれた」ことをわかりやすくアピールし、単なるセールではなく、主権者教育としての意義を意識させました。



SECTION 03

アンケート分析と未来への提言

投票啓発を継続するための 3つの論点



1. 開催頻度とタイミング

日常的に意識を高めるための「定期開催」か、実際の投票行動に直接結びつきやすい「選挙時期のスポット開催」か。メンバー内でも意見が分かれ、今後の要検討課題。



2. ライト層向けのテーマ選定

今回は「身近さ」を重視してフランクな内容に設定。社会的議題を取り上げるべきとの声もあるが、アレルギー反応を避けるためにも最初は簡単なテーマが推奨される。



3. 生協との Win-Win設計

協力関係を持続可能にするため、生協側の販促や販売戦略に寄与するテーマ設定（売上貢献、新商品のプロモーション情宣など）との掛け合わせが重要となる。

地方選挙と国政選挙の認知度の差

7月参議院選挙の認知 (国政選挙)

知っている

46人 (87%)

知らない

7人 (13%)

10月神戸市長選挙の認知 (地方選挙)

知っている

18人 (34%)

知らない

35人 (66%)

※アンケート結果より：国政選挙に比べ、身近なはずの「地方自治体選挙」への認知は著しく低い実態が判明。
大学生が地方政治に関心を持ち、実際の投票権を行使するための特別なプッシュが必要。

一歩進んだ投票機会へ

神戸大学への期日前投票所設置

「投票所に行くのが面倒」という理由が不参加要因の最多を占めました。これを受けて、他大学（大阪大学、関西学院大学等）の先行例を参考に、**神戸大学内への期日前投票所の設置**を提案します。

生協（学生ホールや学生会館等）や大学施設の使用について協働を進めることで、学生だけでなく近隣（六甲台地区）の住民の利便性向上にも寄与する可能性を秘めています。

「模擬投票」を最初のきっかけに。
そして「本物の投票」を日常の一部に。

2025年度 投票促進企画「Go To Elect」

ご清聴ありがとうございました。
神戸大学生生活協同組合 学生委員会 (神大GI)

令和 8 年度 選挙常時啓発事業計画（案）

基 本 方 針	事 業 の 概 要
1 将来の有権者の政治・選挙に対する関心を高める	(1) 出前授業等の実施 ①選挙出前授業のより一層の実施に取り組む。 【実施回数】 50 校 ②議場見学 市会事務局との連携により議場見学において選挙の講義を行う。 (2) 神戸市内の大学との連携 大学生が、神戸市選挙管理委員会が実施する出前授業で講師を務め、小中学校、特別支援学校の児童・生徒等への選挙の大切さを伝える。この活動を通じて、大学生自身も政治や選挙への関心を高める。 (3) 若い有権者への啓発事業 若い有権者に、政治・選挙に関心を高めてもらえるよう、大学祭等で啓発事業を実施。また、大学において、神戸市の取組や選挙にまつわる内容等について講義を行う。 (4) 親子連れ投票の周知・啓発 親子で投票することは、子どもの将来的な投票参加に繋がることから、あらゆる媒体を活用して「親子連れ投票」について周知・啓発するとともに、親子で模擬投票等ができる機会を創出する。 (5) 新たな有権者への啓発事業 選挙権年齢の引下げに伴う新たな有権者へ選挙啓発のダイレクトメールを送付する。 【対象】新たに有権者となる 18 歳 【内容】毎月新たに有権者となる 18 歳にダイレクトメールを送付 市内の高校生のアイデアを基に、デザインを作成する。 (6) 「はたちを祝う会」等における啓発事業 多くの若者が集う「はたちを祝う会」等において、会場内の大型ビジョン等を用いて啓発動画を放映するなど政治・選挙に関する情報を提供し、有権者としての自覚を高める。 (7) 選挙啓発副読本の発行 市立中学 3 年生に向けた啓発用副読本の作成。 【発行予定部数】約 13,000 部

基 本 方 針	事 業 の 概 要
2 一般有権者の政治・選挙に対する関心を高める	(1) 政治選挙講座 市民（区民）を対象に、政治・選挙等についての講座を開催する。 【参加予定人数】 約 1, 0 0 0 人 【開催予定回数】 1 0 回程度 (2) 各種研修会への参加 ・都道府県・指定都市明推協全国フォーラム 公益財団法人 明るい選挙推進協会 主催。 都道府県・指定都市の明推協委員等が参加。 (3) 市広報紙・機関紙での記事掲載等 ①寄附禁止の内容等を広く有権者に P R し、明るい選挙を呼びかけるため、市広報紙及び団体機関紙に啓発記事を掲載。 【掲載予定時期】 1 1 月、 1 2 月 (4) 明るい選挙を推進するため、市・区明るい選挙推進協議会の活動を展開。 ・明るい選挙推進協議会の開催 市：令和 8 年 6 月 15 日 区：令和 8 年 5、6 月に適宜、開催 ・区のまつり等での啓発 模擬投票、選挙啓発グッズの配布、選挙啓発パネルの展示等を各区のまつりに合わせて実施。 (5) 若い有権者の政治的リテラシーの向上 学生メンバーを協議会に迎えるとともに、若い有権者の政治的リテラシーの向上に向けた新たな取組について検討・実施する。

令和7年度 選挙常時啓発事業実績

○：新規事業

基本方針	事業の概要
1 若い有権者の政治・選挙に対する関心を高める	(1) 新たな有権者への啓発事業 選挙権年齢の引下げに伴う新たな有権者へ選挙啓発のダイレクトメールを送付。 【内容】毎月新有権者となる18歳に送付 12,973件 (2) 「はたちを祝う会」における啓発事業 多くの若者が集う「はたちを祝う会」（令和8年1月12日ノエビアスタジアム神戸）において、会場内の大型ビジョンで啓発動画を放映するとともに、冊子に広告を掲載して政治・選挙に関する情報を提供し、有権者としての自覚を高めた。 (3) 若い有権者への啓発事業 若い有権者に、政治・選挙に関心を高めてもらえるよう、大学祭での啓発事業実施へ協賛。また、大学生向け政治学講座の一環で、神戸市の取組や選挙にまつわる内容等について講義を行った。
2 一般有権者の政治・選挙に対する関心を高める	(1) 政治選挙講座（白バラ講座） 婦人政治選挙講座を再編し、市民（区民）を対象に、政治・選挙等についての講座を開催。 【参加人数】144人 【開催回数】3回 (2) 話し合い事業 政治・選挙、時事問題等について、グループ学習を実施。 【参加人数】206人 【開催回数】10回 (3) 各種研修会への参加（公益財団法人 明るい選挙推進協会 主催） ・都道府県・指定都市明推協全国フォーラム（令和8年3月3日） 都道府県・指定都市の明推協委員等が参加。 【参加者】2人 (4) その他啓発 市内の百貨店で行われた洋菓子の総選挙催事に、投票箱および投票用紙記載台を貸し出すとともに、啓発ポスターを掲出。

基 本 方 針	事 業 の 概 要
3 将来の有権者の政治・選挙に対する関心を高める	(1) 選挙啓発副読本の発行 市立中学3年生に向けた啓発用副読本を作成、配布。令和6年度に引き続き、私立中学にも参考配布した。 【発行部数】13,000部 (2) 出前授業等の実施 ①出前授業 36校 小学校 21校、中学校 6校、高等学校 1校、支援学校 4校、大学 4校 【区別内訳】 東灘区 住吉小学校、甲南大学 灘 区 灘の浜小学校、成徳小学校、福住小学校、灘さくら支援学校、神戸大学 中央区 中央小学校、神戸生田中学校、神戸学院大学附属中学校、渚中学校、港島学園 兵庫区 浜山小学校、神戸祇園小学校、兵庫大開小学校 北 区 広陵小学校、唐櫃小学校、花山小学校、小部小学校、有野中学校 長田区 池田小学校、名倉小学校、御蔵小学校、五位の池小学校、宮川小学校、雲雀丘中学校、育英高等学校 須磨区 松尾小学校、青陽須磨支援学校 西 区 狩場台小学校、いぶき明生支援学校（2回実施）、流通科学大学 市 外 関西学院大学 ②議場見学 中学校 2校（六甲学院中学校、長坂中学校）、高等学校 3校（須磨学園高等学校、夢野台高等学校、北神戸総合高等学校）、大学 1校（神戸学院大学）、その他団体 1団体（Get CHANCE） (3) その他啓発 投票率向上を目指した啓発活動の一環として、自治会のご協力を得て、選挙啓発イベント（模擬投票イベント）を実施。

基 本 方 針	事 業 の 概 要
4 選挙についての 情報提供を充 実し、有権者の 理解を深める	(1) 市広報紙・機関紙での記事掲載等 寄附禁止の内容等を広く有権者にPRし、明るい選挙を呼びかけるため、市広報紙及び団体機関紙に啓発記事を掲載。 【掲載時期】 11月、3月 (2) インターネットによる啓発 選挙常時啓発用のホームページで、明推協運動等について紹介し、投票参加、明るい選挙の呼びかけ等を実施。
5 市・区明るい 選挙推進協議会 の活動を推進する	(1) 明るい選挙を推進するため、市・区明るい選挙推進協議会の活動を展開 ・明るい選挙推進協議会の開催 市：令和7年6月20日 区：令和7年5月、6月に適宜開催 ・区のまつり等での啓発 模擬投票、選挙啓発グッズの配布、選挙啓発パネルの展示等を各区のまつりに合わせて実施。 (2) 若い有権者の政治的リテラシーの向上 学生メンバーを協議会に迎えるとともに、若い有権者の政治的リテラシーの向上に向けた新たな取組について検討・実施。

（令和7年7月20日執行）参議院議員通常選挙
啓発事業実績

神戸市・区明るい選挙推進協議会
神戸市・区選挙管理委員会

分類	項目	内容	期間	備考
掲示物による啓発	横断幕・懸垂幕	市・区・支所・出張所庁舎等に設置	7/3～7/20	23枚
	立看板・プラスチック看板	区・支所庁舎、交通センタービル、デュオこうべに設置	7/3～7/20	25枚
	のぼり	市・区・支所・出張所庁舎、市バス停留所等に設置	7/3～7/20	108本
	地下街通路小旗	さんちか通路に小旗（ペナント）を掲示	7/3～7/20	14枚
	自動車ボディパネル	公用車にマグネット式のボディパネルを掲示	7/3～7/20	150枚
	市営地下鉄等での広告掲示	・地下鉄・市バス車内吊広告 ・地下鉄駅構内電光掲示板による啓発	7/14～7/20	地下鉄・市バス 1,100枚
印刷物による啓発	「選挙のお知らせ」	投票日、投票の資格要件、投票場所等の周知とともに、投票参加と期日前投票活用を呼びかけ、市内世帯に配布する。	期間中	新聞折込（日刊6紙・7/3） 258,200部 公共施設他 28,800部 計 287,000部
	ポスター	市・区・支所等庁舎、事業所、公共施設等に掲示	期間中	約1,000枚
	ポスター掲示場	ポスター掲示場の表題枠に投票日等を刷り込み	期間中	2,525枚
	「投票のご案内」	有権者（世帯ごと）に郵送。投票日時、投票所の周知を徹底し、期日前投票の活用を呼びかけ	期間中	有権者全員
	市広報紙	広報紙KOBEで投票日の周知、投票参加・期日前投票の呼びかけ	7月号	
	機関紙・情報誌	各種機関紙や情報誌に投票参加・期日前投票活用の呼びかけ	期間中	KOBEジャーナル 7月号 Dジャーナル 7/4号 婦人神戸 8/15号
放送・通信による啓発	ラジオ（市広報番組）	市広報番組の中で投票参加の呼びかけ	期間中	ラジオ関西
	ラジオ（FM）	コミュニティFMでのCM放送	期間中	FMムーヴ
	街頭ビジョン等での動画放映	三宮地区等の商業ビル外壁大型ビジョン等で投票参加の呼びかけ	期間中	BOSセンター街・ミント神戸 市役所・区役所・市役所EV
	インターネット	神戸市のホームページで投票参加の呼びかけ、投開票速報の実施、選挙公報の掲載	期間中	
	SNSでの啓発	X等のSNSを活用した投票参加の呼びかけ	期間中	神戸市広報戦略部 X、Facebook
	棄権防止放送	・市・区庁舎、公共施設、鉄道駅構内、地下街等での案内放送で投票参加の呼びかけ ・地下鉄・市バス車内放送での投票参加の呼びかけ	期間中	※神戸大学放送委員会作成の音源を使用
資啓材発	ポケットティッシュ他	市・区窓口、街頭啓発等で配布	期間中	
若い有権者向け啓発	学生等による投票所事務従事	選挙に対する理解を高めるため、市立高校や市内大学の学生を主対象として、投票所事務従事者を市選管が一括募集して各区で配置	期間中	
	学生向けメール配信	大学の協力をいただき、在学生へメール配信し投票を呼びかける	期間中	市内大学
	しおり型投票済証の配布	期日前及び当日投票所において、投票者にしおり型投票済証を配布	期間中	412,700枚
その他	街頭啓発	区選管と連携し、駅周辺・商店街等で投票を呼びかける	期間中	
	関係機関・地域団体への協力依頼	各関係機関・地域団体へ啓発活動に関する協力を依頼	期間中	市区選管・明推協委員

（令和7年10月26日執行）神戸市長選挙
啓発事業実績

神戸市・区明るい選挙推進協議会

神戸市・区選挙管理委員会

分類	項目	内容	期間	備考
掲 示 物 に よ る 啓 発	横断幕・懸垂幕	区・支所・出張所庁舎、公共施設、歩道橋、百貨店等に設置	10/10～ 10/26	77枚
	大看板・立看板・プラスチック看板	区・支所庁舎、事業所、公共施設、交通センタービル、デュオこうべ等に設置	10/10～ 10/26	54枚
	のぼり	市・区・支所・出張所庁舎、市バス停留所、公共施設等に設置	10/9～10/26	900本
	地下街通路小旗	さんちか通路に小旗（ペナント）を掲出	10/13～ 10/26	14枚
	バナー（街頭啓発旗）	フラワーロード、三宮中央通等に取り付け	10/1～10/26	280枚
	自動車ボディパネル	公用車等にマグネット式のボディパネルを掲示	～10/26	506枚
	デジタルサイネージ	公共交通機関、商業施設	10/13～ 10/26	
	シテイスケープ広告	市内12か所におけるバス停のネットワーク屋外広告による啓発	10/13～ 10/26	
	市営地下鉄等での 広告掲示	・地下鉄、市バス車内吊広告 ・地下鉄駅構内電光掲示板 による啓発	10/13～ 10/26	
	観覧車への文字表記による 啓発	ハーバーランド観覧車に投票日を表示	10/23～ 10/25	日没後より、毎時00分～と 30分～の3分間表示
印 刷 物 に よ る 啓 発	花時計による啓発	東遊園地南側の花時計に市長選挙図案を掲示	9/11～10/30	
	ポスター掲示場横立看板	前回投票率が低い兵庫区および長田区のポスター掲示場横に啓発立看板を設置	10/9～10/26	兵庫区内10か所 長田区内12か所
	「選挙のお知らせ」	タブロイド版2ページ(両面刷、1・2ページとも2色)で投票日、投票の資格要件、投票場所および記号式投票等の周知とともに、投票参加と期日前投票活用を呼びかけ、市内世帯に配布	期間中	新聞折込（日刊6紙・10/12） 258,200部 公共施設他 14,650部 合計 272,850部
	ポスター	市・区・支所等庁舎、事業所、公共施設、鉄道駅、商業施設等に掲示	10/13～ 10/26	7,000枚
	市広報紙	広報紙KOBEで投票日、投票参加・期日前投票の呼びかけ	2025年10月号	
	「投票のご案内」	有権者（世帯ごと）に郵送。投票日時、投票所の周知を徹底し、期日前投票の活用を呼びかけ	期間中	有権者全員
	機関紙・情報誌	各種機関紙や情報誌に投票参加・期日前投票活用の呼びかけ	期間中	サンケイリビング Dジャーナル
	日刊紙新聞広告	日刊紙に投票日周知の広告を掲載	10/26	神戸新聞 195,860部（神戸市内91,445部） 読売新聞 198,280部（神戸市内69,728部） 合計 394,140部（神戸市内161,173部）
啓 発	チラシ	関係団体・各種行事等で配付	10/7～10/26	25,800部
	選挙公報の余白利用	選挙公報の余白を利用して投票参加の呼びかけ	10/12～	

分類	項目	内容	期間	備考
放送・通信による啓発	テレビCM	在神局でスポット広告放送	10/13～10/26	サンテレビ
	ラジオ（市広報番組）	市広報番組の中で投票参加の呼びかけ	10/19、10/26	ラジオ関西
	ラジオCM	ラジオでのCM放送	10/13～10/26	ラジオ関西
	街頭ビジョンでのCM放映	三宮地区等の街頭ビジョンで、投票参加の呼びかけ	10/12～10/25	神戸空港、ミントビジョン、BOS（センター街）、ノエピアスタジアム、市役所1号館1階、市役所高層用エレベーター内
	「イベント情報のお知らせ」の配信	教育委員会の保護者連絡アプリ「すぐる」における「イベント情報のお知らせ」で、投票の呼びかけを配信	10/17	
	インターネット	YouTube、Instagram、TVerによる動画発信 バナー広告（LINE、YDN、GDN、神戸市HP等）	期間中	
	SNSでの啓発	FacebookやX、InstagramなどのSNSを活用した投票参加の呼びかけ	期間中	市広報課（Facebook、X、Instagram）
	棄権防止放送	市・区庁舎、公共施設、鉄道駅構内、百貨店等での案内放送で投票参加の呼びかけ 地下鉄車内放送での投票参加の呼びかけ	期間中	※神戸大学放送委員会作成の音源等を使用
	広報自動車の巡回	市内を3つのエリアに分け巡回し、投票を呼びかけ	10/12～10/26	
資 啓 材 発	ポケットティッシュ	市・区窓口、商業施設、イベント等で配布	期間中	100,000個
若い有権者向け啓発	学生等による投票所事務従事	投票所事務に従事することで、学生等の選挙に対する理解を高める	期間中	
	学生向けメール配信	大学の協力をいただき、在学生へメール配信し投票を呼びかけ	期間中	市内大学
	オリジナルステッカーの配布	啓発イベントの参加者や、期日前および当日投票所において投票者に、明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」が描かれたオリジナルステッカーを配布	期間中	
	顔はめパネルの作成	市内高校生のアイデアを基に、「選挙のめいすいくん」と一緒に写真撮影ができる顔はめパネルを作成	期間中	
	しおり型投票済証の配布	期日前および当日投票所において、投票者にしおり型投票済証を配布	10/13～10/26	
街頭啓発	啓発イベント等	(1) 広報キャラクターによるトークショーをDUO神戸デュオドームで開催 ・神戸の明るい未来について阿部兄弟と一緒に考えるトークイベント (2) 記号式投票の周知を兼ねた啓発イベントを神戸ハーバーランド高浜岸壁で開催 ・神戸市長選挙 模擬投票イベントinラジ関まつり ～推しキャラに投票しよう～ 神戸市にゆかりのある「ゆるキャラ」の人気投票イベント。実際の選挙で使用される投票箱と記載台を用いて実施。	(1) 10/13 (2) 10/19	
その他	関係機関への協力依頼	各関係機関へ啓発活動に関する協力を依頼	～10/26	
	区独自啓発	各区選管が主体となり、駅前、商店街等での街頭啓発をはじめ、区の地域性を生かした啓発事業を展開 投票所内の様子や、選挙の流れをわかりやすく説明した動画をヴィッセル神戸とコラボして作成	期間中	

（令和8年2月8日執行）衆議院議員総選挙
啓発事業実績

神戸市・区明るい選挙推進協議会

神戸市・区選挙管理委員会

分類	項目	内容	期間	備考
掲示物による啓発	横断幕・懸垂幕	市・区・支所・出張所庁舎等に設置	1/28～2/8	22枚
	立看板・プラスチック看板	区・支所庁舎、交通センタービル、デュオこうべに設置	1/28～2/8	27枚
	のぼり	市・区・支所・出張所庁舎、市バス停留所等に設置	1/30～2/8	118本
	地下街通路小旗	さんちか通路に小旗（ペナント）を掲示	1/27～2/8	28枚
	自動車ボディパネル	公用車にマグネット式のボディパネルを掲示	1/30～2/8	150枚
	市営地下鉄等での広告掲示	・地下鉄・市バス車内吊広告 ・地下鉄駅構内電光掲示板による啓発	1/28～2/8	地下鉄・市バス 1,800枚
印刷物による啓発	「選挙のお知らせ」	投票日、投票の資格要件、投票場所等の周知とともに、投票参加と期日前投票活用を呼びかけ、市内世帯に配布する。	期間中	新聞折込（日刊6紙・1/27） 258,200部 公共施設他 38,800部 計 297,000部
	ポスター	市・区・支所等庁舎、事業所、公共施設等に掲示	期間中	約1,000枚
	「投票のご案内」	有権者（世帯ごと）に郵送。投票日時、投票所の周知を徹底し、期日前投票の活用を呼びかけ	期間中	有権者全員
	機関紙・情報誌	各種機関紙や情報誌に投票参加・期日前投票活用の呼びかけ	期間中	KOBEグー 2月号
放送・通信による啓発	ラジオ（市広報番組）	市広報番組の中で投票参加の呼びかけ	期間中	ラジオ関西
	街頭ビジョン等での動画放映	三宮地区等の商業ビル外壁大型ビジョン等で投票参加の呼びかけ	期間中	BOSセンター街・ミント神戸 市役所・区役所・市役所EV
	インターネット	神戸市のホームページで投票参加の呼びかけ、投開票速報の実施、選挙公報の掲載	期間中	
	S N Sでの啓発	X等のS N Sを活用した投票参加の呼びかけ	期間中	神戸市広報戦略部 X、Facebook
	棄権防止放送	・市・区庁舎、公共施設、鉄道駅構内、地下街等での案内放送で投票参加の呼びかけ ・地下鉄車内放送での投票参加の呼びかけ	期間中	※神戸大学放送委員会作成の音源等を使用
資材による啓発	ポケットティッシュ 他	市・区窓口、街頭啓発等で配布	期間中	
若い有権者向け啓発	学生向けメール配信	大学の協力をいただき、在学生へメール配信し投票を呼びかけ	期間中	市内大学
	名刺型投票済証の配布	期日前及び当日投票所において、投票者に名刺型投票済証を配布	期間中	584,100枚
その他	街頭啓発	商店街等で投票を呼びかける	期間中	
	関係機関への協力依頼	各関係機関へ啓発活動に関する協力を依頼	期間中	市区選管・明推協委員